

令和7年度

学校推薦型選抜 学生募集要項

自然災害の発生や感染症の流行等による入学試験の実施について

自然災害の発生や感染症の流行等によって、入学試験の実施が懸念されるときは、本学のホームページで試験開始時刻の繰り下げや、試験の中止・延期、選抜方法の変更等の対応をお知らせしますので、定期的にホームページで確認してください。

受験情報サイト (URL) <https://juken.ehime-u.ac.jp>



学校推薦型選抜の試験日程等一覧

区分	学部	学科・課程等	募集人員(人)	出願情報の登録期間	検定料の支払期間及び出願書類の提出期間	試験期日	2段階選抜に係る第1段階選抜の結果発表	合格者発表	入学手続期間	出願要件、推薦要件等及び選抜方法等					
学校推薦型選抜Ⅰ	法文学部	人文社会科学	「昼間主コース」	15	10月18日 } 11月7日	11月1日 } 11月7日	11月24日	12月6日	12月6日 } 12月18日	33ページ参照					
		「夜間主コース」	10	35ページ参照											
	理学部	理学科	生物学コース							7	36ページ参照				
			地学コース	12						38ページ参照					
	工学部	工学科	機械工学コース	2							40ページ参照				
			知能システム学コース	1						42ページ参照					
			電気電子工学コース	5								44ページ参照			
			コンピュータ科学コース	1									47ページ参照		
			材料デザイン工学コース	3										44ページ参照	
			化学・生命科学コース	7											47ページ参照
			社会基盤工学コース	10											
	社会デザインコース	4	47ページ参照												
	農学部	食料生産学科		推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕						8	11月23日				
				推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕						10		11月24日			
		生命機能学科		推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕						3			11月23日		
				推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕						3				11月24日	
生物環境学科		推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕		9	11月23日										
		推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕		7		11月24日									
教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	10	10月18日 } 11月7日			11月1日 } 11月7日	11月24日	12月6日	2月10日 } 2月19日	54ページ参照				
		小学校教育サブコース													
		言語社会教育サブコース													
		科学教育サブコース													
		生活健康・芸術教育サブコース													
理学部	理学科	数学・数理情報コース	10	11月23日 } 11月24日	56ページ参照										
		物理学コース	5												
		化学コース	8												
医学部	医学科	推薦A(学校推薦)	25	11月23日 } 11月24日	58ページ参照										
		推薦B(地域特別枠推薦)	5*			60ページ参照									
	看護学科	推薦A(学校推薦)	18				64ページ参照								
		推薦B(地域特別枠推薦)	6					66ページ参照							
工学部	工学科	機械工学コース	12	11月25日 } 12月13日	12月9日 } 12月13日				2月1日	75ページ参照					
		知能システム学コース	3			77ページ参照									
		電気電子工学コース	8				79ページ参照								
		コンピュータ科学コース	4												
		応用情報工学コース	4												
		材料デザイン工学コース	12												
		化学・生命科学コース	13												

※医学部医学科学学校推薦型選抜ⅡB(地域特別枠推薦)については、現在確定している募集人員は5名であるが、これを20名となるように認可申請中です。確定次第、本学のホームページに掲載します。

出願方法

学校推薦型選抜への出願は、出願期間内に、インターネットで行い、併せて、出願しようとする学部が定める出願書類を本学に郵送してください。

なお、出願前に、動画「インターネット出願の使い方」を視聴し、インターネット出願の操作方法を理解してから、出願してください。

インターネット出願サイト(URL) <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>



法文学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

法文学部では、人文・社会科学の知識を基盤とした幅広い教養と実践力を身につけた、汎用的能力の高いグローバル人材を育成することを目的とします。そのため、法文学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・理解)

1 高等学校等で学習する国語、外国語、地理歴史、公民、数学、理科、情報などについて、高等学校卒業相当の知識と技能を有している。

(思考・判断)

2 物事を多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲、態度)

3 人間及び人間の創り出した文化や現実の社会から提起される諸問題に興味関心を持ち、それを大学における勉学を通じて追求し、勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいと考えている。

(技能・表現)

4 所与の問題について、自分の考えを日本語でわかりやすく表現できる。

選考方法の趣旨

【学校推薦型選抜Ⅰ】

物事を多様な側面から考察し、主体的に自らの考えを確立して、それをわかりやすく表現できるかをみるために、小論文を課しています。また、人間や文化、社会の諸問題について積極的な関心を持ち、多様な人々と協働しながら勉学の成果をグローバル化した現代社会に活かしたいという強い意欲を有しているかをみるために、面接（口頭試問を含む。）を課しています。さらに、高等学校レベルの基礎知識や学力、勉学への意欲や関心、実践的活動などをみるために、推薦書・調査書・活動報告書の提出を求めています。

教育学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

教育とは次世代を創造する営みです。教育学部は子どもの心を深く理解し、幅広い教養と実践的指導力、現代的課題解決能力、専門性を兼ね備えた教員の養成を目指しています。本学部は、教員養成学部としての重要性を自覚し、教育発達実践コース（幼年教育サブコース、小学校教育サブコース、特別支援教育サブコース）、初等中等教科コース（言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース）からなる各コースの特徴ある専門教育を実施しています。「人を育む」という観点から、多様化・複雑化する教育課題に的確に対応できる人材を育成し、社会に送り出します。この目的のために、次のような資質・能力を有する学生を求めます。

1 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

(知識・理解)

①高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報などについて、内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(知識・理解、技能)

②教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識や、体育、音楽、美術などの実技能力を有している。

(思考・判断・表現)

2 物事を多面的かつ論理的に思考・判断することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

(興味・関心・意欲)

3 子どもの育ちや教育にかかわる諸問題に深い関心を持ち、教師として社会に主体的に貢献する意欲を明確に有している。

(態度)

4 積極的に多様な他者と協働し、対話を通して主体的に相互の理解に努めようとする態度を有している。

学校教育教員養成課程のアドミッション・ポリシー

幼児・児童・生徒の発達や学習、障害などの様々な教育的ニーズに対して幅広い興味と関心を持ち、教育に関する諸問題について、自ら積極的に解決し、教師として社会に貢献しようとする意欲のある人を求めています。

教育や発達、教科、障害などに関する課題を積極的に探究し、解決に向けて自ら思考し、対話を通して相互理解に努めようとする人、個々の子どものニーズに柔軟に対応し、すべての子どもたちが輝く教育の創造に努めようとする人の入学を期待します。

選考方法の趣旨

【学校推薦型選抜Ⅱ】

初等教育および中等教育への強い関心と、教員を目指すという強い目的意識、勉学意欲、基礎的知識等を持ち、緊張した状況下でも落ち着いて他者に自分の考えを自らの言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力を有しているかをみるために、集団面接試験を課しています。また、高等学校レベルの基礎学力をみるために、大学入学共通テストでは3教科3科目を課しています。さらに、高校生活における活動歴等を踏まえ、関心、意欲、態度等をみるために、調査書、活動報告書等を課しています。

理 学 部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

科学は、数理、物質、自然、生命を支配する原理や法則を探究する学問であり、身の回りの「何故」に対する合理的な答えを知りたいという知的好奇心が積み重なって発展してきました。理学部は、数学・数理情報、物理学、化学、生物学、地学の理学5基幹分野を基盤に、宇宙・地球・環境に関連する学際的分野に携わる先端研究院の研究センター群と協働して教育・研究を実施しています。理学部は、数理・物質・自然・生命にかかわる事柄に広く興味を持ち、科学を体系的に学習して理系人材として社会で活躍しようと志す入学者を受け入れ、各教育コースの特徴ある専門教育を通して汎用能力を有す理系人材として育成し、社会に送り出します。この目的のために、理学部では次のような資質を有する学生を求めます。

- 1 高校課程修了レベルの知識・教養を広く修得しており、自律的に学習を進める準備がある。
- 2 高校課程の数学または理科の十分な基礎学力を有し、数理・物質・自然・生命の探究に興味を持ち、科学をさらに深く学び理解しようとする意志がある。
- 3 物事を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。
- 4 継続的な学習により成長し、倫理観・責任感をもって主体的に社会とかかわり貢献しようと志している。

選考方法の趣旨

【学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ】

学校推薦型選抜では、理学の特定の分野に対する志向が強い入学志願者を受け入れるため、教育コースごとに推薦書・調査書・活動報告書による評価と口頭試問を含む面接を実施し、入学後の修学に必要な基礎学力・論理的思考力・表現力・専門分野に対する意欲・適性を総合評価して選抜します。学校推薦型選抜Ⅱでは、さらに大学入学共通テストによる第2次選抜を実施します。

推薦書・調査書・活動報告書では、高校等で学習した全科目の学業成績により幅広い分野の基礎学力の達成度を確認するとともに、総合的な探究の時間、特別活動、その他の項目や活動記録により、学習への取り組み姿勢・主体性・他者と協働する態度などを総合的に評価します。

口頭試問を含む面接では、志望教育コースの分野に関する基礎的知識・理解力・論理的思考力・表現力・目的意識・勉学意欲を総合的に評価します。

学校推薦型選抜Ⅱの第2次選抜の大学入学共通テストでは、国語、数学、理科、外国語および情報の5教科7科目を課し、総合的な基礎学力を評価します。

医学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

愛媛大学医学部では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学・看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学部では次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・思考力・判断力・表現力）

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- 2 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。
（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）
- 3 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
- 4 医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。
- 5 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
- 6 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、多様な人々と協働して良好な関係を保つことができる。

医学科のアドミッション・ポリシー

愛媛大学医学部医学科では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた医学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、総合型選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、医学科では次のような資質を有する学生を求めます。

（知識・技能・思考力・判断力・表現力）

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
 - 1-1) [全ての入試枠] 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の広範な知識を有している。

- 1-2) [一般選抜] 高等学校等で履修する数学および理科（物理、化学）について深く理解している。また、和文や英文を読んでその内容を理解し、日本語や英語で適確に表現することができる。
- 1-3) [学校推薦型選抜Ⅱ・総合型選抜Ⅱ] 和文や英文の理解に加え、理科や数学の基礎的な知識を基に、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ考察し、日本語や英語で適確に表現できる。
- 2 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
- 3 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
- 4 医学・医療に対する目的意識と関心が高く、この分野に貢献したいという意欲と情熱を持っている。
- 5 入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
- 6 幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、多様な人々と協働して良好な関係を保つことができる。
- 7 [学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）] 幅広い総合的な診療能力を身につける意欲を持ち、愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理感を持っている。
- 8 [総合型選抜Ⅱ] 研究医の不足や、地域・診療科における臨床医の偏在など、医学・医療を取り巻く諸問題に強い関心を持ち、その是正に意欲を持って取り組み、愛媛県内の医学・医療の担い手となる高い使命感と倫理感を持っている。

看護学科のアドミッション・ポリシー

愛媛大学医学部看護学科では、愛媛大学学生として期待される能力（愛大学生コンピテンシー）を備え、医学部の基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育、研究、医療」を実践できる医療人の育成を目指しています。そのため、基本的な知識・技能・思考力・判断力・表現力と人間の尊厳を重んじる豊かな人間性を備えた入学者に対して、幅広い教養、生命に対する深い慈しみに裏打ちされた生命倫理、そして生命の尊厳に基づいた看護学教育を行っています。加えて、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている入学者が、進歩する医学・医療を生涯にわたり学習し続ける能力を磨くために、大学や学部を超えたグループによる課題探究型の教育にも力を入れています。さらに、地域医療を含む日本の保健・医療・福祉だけでなく、研究や行政において国際的に貢献できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜、社会人選抜や編入学などの様々な選抜方法を採用しています。そこで、看護学科ではカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）およびディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める教育を受けるために最低限必要な、次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能)

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
 - [一般選抜]
 - 1-1) 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の広範囲な知識を有している。
 - 1-2) 長文の和文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。
 - [学校推薦型選抜ⅡA（学校推薦）]
 - 1-1) 高等学校等で履修する国語、理科、外国語の広範囲な知識を有している。
 - 1-2) 長文の英文や和文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。
 - [学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）]
 - 1-1) 高等学校等で履修する国語、理科、外国語の広範囲な知識を有している。
 - 1-2) 長文の和文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。
 - [社会人選抜]
 - 1-1) 長文の英文や和文の文章を理解し、その内容およびそれに関連した事項について、受験時までの学習や経験を踏まえつつ自らの考えを日本語で適確に表現できる。
- 2 高等学校等までの学修や生活体験を通して、人と人の暮らしに関する知識を獲得している。

(思考力・判断力・表現力)

- 3 自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる。
- 4 物事の中から問題を見出し、解決方法を探り、問題解決に向けて行動することができる。
- 5 情報をもとに自分の考えを形成し、その考えを伝え合って多様な考えを理解し、考えを深めることができる。
- 6 物事をさまざまな視点からとらえ、新しい意味や価値を生み出すことができる。
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
- 7 人が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている。
- 8 人や人の暮らし、看護に高い関心があり、将来、看護職として医療に貢献したい目的意識と情熱がある。

【学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）】

- 8-1) 中山間地域や離島などの地域医療に強い関心を持ち、将来、愛媛県内の地域医療のリーダーとして貢献することに高い使命感を持っている。
- 9 周囲の人と良好な関係を自主的に形成していくことができる。
 - 10 多様な人々の考え方や価値観を尊重し、互いのよさを生かして協働できる。

選考方法の趣旨

I. 医学科

【学校推薦型選抜ⅡA（学校推薦）】

医師を目指すためには、卒業までに多くの専門知識や技術を身につけなければなりません。そのためにも、大学入学までに培われるべき基礎学力が必要です。

筆記試験では、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために、総合問題試験を課しています。テーマは医学・医療に関係する内容に限らず、数学・物理・化学・生物・地学を含む自然科学全般やその時々々の社会問題から広く出題します。

また、面接試験では、医師を目指すという目的意識や情熱が強いこと、緊張した状況下でも落ち着いて、他者に自分の考えを自分の言葉で伝えられるコミュニケーション能力を有していることを確認します。さらに、多様な人々と協働し生涯学び続けることが求められる医療人としての適性、医師の社会的責任について自分なりの考えを持っていることや、医療や医学について社会問題となっている事柄についての興味や関心を確認します。

大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために6教科8科目を課しています。

【学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）】

医師を目指すためには、卒業までに多くの専門知識や技術を身につけなければなりません。そのためにも、大学入学までに培われるべき基礎学力が必要です。

筆記試験では、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために、総合問題試験を課しています。テーマは医学・医療に関係する内容に限らず、数学・物理・化学・生物・地学を含む自然科学全般やその時々々の社会問題など広い範囲から出題します。

また、面接試験では、医師を目指すという目的意識や情熱が強いこと、緊張した状況下でも落ち着いて、他者に自分の考えを自分の言葉で伝えられるコミュニケーション能力を有していることを確認します。さらに、多様な人々と協働し生涯学び続けることが求められる医療人としての適性、医師の社会的責任について自分なりの考えを持っていることや、医療や医学について社会問題となっている事柄についての興味や関心を確認します。加えて、将来の愛媛県の地域医療を支える人材として、幅広い総合的な診療能力を身につけ、医学・医療の発展に貢献するという自覚を、面接試験によって評価します。

大学入学共通テストでは、入学後の修学に必要な高等学校レベルでの幅広い分野の基礎学力をみるために6教科8科目を課しています。

なお、本選抜では、大学が行う上記の試験（筆記、面接）とは別に、愛媛県担当者による面接試験があります。そこでは、入学後に愛媛県が提供する奨学金の奨学生となる意思を確認します。

(この奨学金制度では、県が指定する医療機関で卒業後に一定期間勤務すると奨学金の返還が免除されます。)

II. 看護学科

【学校推薦型選抜ⅡA（学校推薦）】

将来的に、地域のリーダーとして、人の一生涯の暮らしを支える看護を牽引する人材の育成を目指し、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する思考力・判断力・表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行います。

高等学校レベルの基礎学力の評価のために、大学入学共通テストでは、3教科3科目を課しています。

個別学力検査では、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために和文と英文による小論文試験（解答は和文による）を課しています。

個人面接では、出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）を含めて評価します。また、アドミッション・ポリシーに基づき、高等学校等や学校外での様々な活動について質問し、看護の専門職を目指すという強い目的意識や情熱をもち、緊張した状況下でも落ち着いて他者に自分の考えを自らの言葉で伝えることや他者の話を聴くコミュニケーション能力を有していることを確認します。入学後の学習では、実際に地域で暮らす人々や、病院・施設・在宅で療養している多くの人々と関わることからの学びが重要になります。そのため、人との関わりが好きで、人に対する尊敬や謙虚さを忘れず、そばにいただけで安心や温かみを与えられる資質の持ち主であることを確認します。

【学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）】

将来的に、地域のリーダーとして、人の一生涯の暮らしを支える看護を牽引する人材の育成を目指し、高等学校等において修得した基礎的な知識・技能、それらを活用する思考力・判断力・表現力等の能力、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度などを、多面的・総合的に評価する入学者選抜を行います。

高等学校レベルの基礎学力の評価のために、大学入学共通テストでは、3教科3科目を課しています。

個別学力検査では、文章の内容や意味を正しく捉え、内容を論理的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現できる能力を持った学生を選抜するために和文による小論文試験を課しています。

個人面接では、出願書類（推薦書、自己推薦書、調査書、活動報告書）を含めて評価します。また、アドミッション・ポリシーに基づき、高等学校等や学校外での様々な活動について質問し、卒業後は愛媛県の中山間地域や離島などの地域医療に貢献できる看護の専門職を目指すという強い目的意識や情熱をもち、緊張した状況下でも落ち着いて他者に自分の考えを自らの言葉で伝えることや他者の話を聴くコミュニケーション能力を有していることを確認します。入学後の学習では、実際に地域で暮らす人々や、病院・施設・在宅で療養している多くの人々と関わることからの学びが重要になります。そのため、人との関わりが好きで、人に対する尊敬や謙虚さを忘れず、そばにいただけで安心や温かみを与えられる資質の持ち主であることを確認します。

工 学 部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

工学部では、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指します。そのため、工学部では次のような人物を求めます。

（知識・理解）

1 本学科の専門分野を学ぶために必要な、高等学校卒業レベルの基礎学力を有している。

（思考・判断、技能・表現）

2 物事を多面的に考察し、論理的にまとめ表現することができる。

3 自分の考えを他者にわかりやすく伝えることができる。

（興味・関心・意欲、態度）

4 工学の分野に興味を持ち、習得した知識・技術を地域社会あるいは国際社会に役立てたいと考えている。

（主体性・多様性・協働性）

5 主体的に多様な経験を得ようとする意欲を有している。

6 多様な他者と関わり、相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力を有している。

選考方法の趣旨

(機械工学コース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、職業科目の基礎的な学力を調査書により判断します。機械の設計で特に重要となる数学と物理の基礎学力を測るために口頭試問を課しています。また、「ものづくり」への興味、向上心、社会と技術の関係への関心、コミュニケーション力をみるために面接を課しています。さらに、推薦書・調査書および活動報告書により、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

大学入学共通テストでは、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、「ものづくり」への興味、向上心、社会と技術の関係への関心、コミュニケーション力をみるために面接を課しています。さらに、推薦書・調査書および活動報告書により、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

(知能システム学コース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、職業科目の基礎的な学力を調査書により判断します。知能システムの設計で特に重要となる数学と物理の基礎学力を測るために口頭試問を課しています。また、「ものづくり」への興味、向上心、社会と技術の関係への関心、コミュニケーション力をみるために面接を課しています。さらに、推薦書・調査書および活動報告書により、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

大学入学共通テストでは、高等学校で履修した主要教科・科目について教科書レベルの基礎的な知識を有しているかをみるために、5教科7科目を課しています。また、「ものづくり」への興味、向上心、社会と技術の関係への関心、コミュニケーション力をみるために面接を課しています。さらに、推薦書・調査書および活動報告書により、工学分野への興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

(電気電子工学コース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

高等学校の推薦書・調査書及び面接・活動報告書により、高等学校卒業程度の基礎学力、電気・電子・情報通信工学に対する勉学意欲・興味・関心、主体性、協働性などをみます。電気・電子・情報通信工学の分野を学ぶためには、数学、物理、英語等の基礎学力は特に重要です。面接では、これらの基礎学力をみます。また、目標を持って勉強することや自分の考えをわかりやすく表現することも重要ですので、これらについても面接で確認します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

高等学校の推薦書・調査書及び面接・活動報告書により、高等学校卒業程度の基礎学力、電気・電子・情報通信工学に対する勉学意欲・興味・関心、主体性、協働性などをみます。電気・電子・情報通信工学の分野を学ぶためには、数学、物理、英語等の基礎学力は特に重要です。そのため、大学入学共通テストにおいて数学、物理、情報の学力をみるとともに、面接においても、数学と英語の学力をみます。また、目標を持って勉強することや自分の考えをわかりやすく表現することも重要ですので、これらについて面接で確認します。

(コンピュータ科学コース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

目的意識、基礎的知識、自己表現力、情報工学分野への興味・学習意欲、主体性、協働性等を評価するため

に、推薦書、調査書、活動報告書の提出を求めるとともに、面接を課しています。

基礎学力、論理的思考能力、コミュニケーション能力を評価するために、口頭試問を課しています。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

大学入学共通テストでは、基礎学力・教養力を評価するために、6教科8科目を課しています。目的意識、基礎的知識、自己表現力、情報工学分野への興味、学習意欲、主体性、協働性等を評価するために、推薦書、調査書、活動報告書の提出を求めるとともに、面接を課しています。

(応用情報工学コース)

【学校推薦型選抜Ⅱ】

大学入学共通テストでは、基礎学力・教養力を評価するために、6教科8科目を課しています。目的意識、基礎的知識、自己表現力、情報工学分野への興味、学習意欲、主体性、協働性等を評価するために、推薦書、調査書、活動報告書の提出を求めるとともに、面接を課しています。

(材料デザイン工学コース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

面接では、目的意識、勉強意欲、基礎的知識および自己表現力などについて総合的に評価します。また、口頭試問を設け、材料を学ぶ上で特に重要となる理科・数学に関する基礎学力もみます。推薦書・調査書および活動報告書では、「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」および「主体性・多様性・協働性」について評価します。推薦書・調査書および活動報告書は面接における参考資料とします。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

大学入学共通テストでは、高等学校レベルの広範囲な基礎学力をみるために、6教科8科目を課しています。面接では、目的意識、勉強意欲、基礎的知識および自己表現力などについて総合的に評価します。推薦書・調査書および活動報告書では、「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」および「主体性・多様性・協働性」について評価します。推薦書・調査書および活動報告書は面接における参考資料とします。

(化学・生命科学コース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

推薦書・調査書・活動報告書によって、高等学校卒業程度の英語、数学、理科、情報、国語、地理歴史、公民の基礎学力を評価します。面接では、口頭試問によって化学・生命科学を学ぶ上で特に重要である化学に関する基礎学力を評価します。また、化学技術や生命科学に対する興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】

大学入学共通テストでは、高等学校レベルの広範囲な基礎学力をみるために、6教科8科目を課しています。推薦書・調査書・活動報告書および面接によって、化学技術や生命科学に対する興味・学習意欲、主体性・協働性等を評価します。

(社会基盤工学コース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

在籍校長の推薦書、調査書、活動報告書、面接(口頭試問を含む。)により入学後に重点的に履修する分野・領域の修学に関する知識・理解、思考力・判断力・表現力の素地、興味・関心・意欲、態度、リーダーとしての主体性・多様性・協働性などの能力を評価します。

(社会デザインコース)

【学校推薦型選抜Ⅰ】

在籍校長の推薦書、調査書、活動報告書、面接（口頭試問を含む。）により入学後に重点的に履修する分野・領域の修学に関する知識・理解、思考力・判断力・表現力の素地、興味・関心・意欲、態度、リーダーとしての主体性・多様性・協働性などの能力を評価します。

農学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

農学部は、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給、生命機能の解明と生物資源の利用、生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する様々な問題を解決し、自然と共生する持続可能な社会の構築に貢献できる人材を育成することを教育理念としています。この教育理念に基づき、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題の解決に熱意をもち、主体性と多様な能力をもった学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、農学部は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する6教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜ⅠA]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜ⅠB]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

食料生産学科のアドミッション・ポリシー

食料生産学科は、栽培、管理から収穫、加工、流通、販売、経営までの一連のプロセスを俯瞰できる広い視野をもち、農業の6次産業化、生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給の実現に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、食料生産学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する6教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜ⅠA]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜ⅠB]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生命機能学科のアドミSSION・ポリシー

生命機能学科は、生命化学分野に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、生命機能の解明と生物資源の有効活用に意欲的に取り組むことができる学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、生命機能学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。

2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する6教科（国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報）の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜ⅠA]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜ⅠB]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

生物環境学科のアドミッション・ポリシー

生物環境学科は、山から海に至る広範囲の環境に関する様々な問題を解決するための俯瞰的な視野をもち、地域規模から世界規模の範囲で活躍する意欲のある学生を求めます。そのため、一般選抜に加えて、学校推薦型選抜や総合型選抜などの様々な入試方法も採用しています。

そこで、生物環境学科は次のような資質を有する学生を求めます。

(知識・技能・理解)

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力を有している。
- 2 次のいずれかに該当する。

(1) [一般選抜、総合型選抜Ⅱ]

高等学校等で履修する6教科(国語、数学、理科、地理歴史・公民、外国語、情報)の基礎的な知識・技能を有している。

(2) [学校推薦型選抜ⅠA]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有している。

(3) [学校推薦型選抜ⅠB]

高等学校等で履修する国語、英語、理科・数学系の基礎的な知識・技能を有し、農林水産業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているか、高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有している。

(思考・判断)

ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。

(興味・関心・意欲)

地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関する様々な問題に関心をもち、身に付けた知識をこれらの解決に役立てたいという意欲をもっている。

(表現)

自分の考えを、日本語で他者にもわかりやすく表現できる。

(主体性・協働性)

問題解決のために、主体性をもって多様な人々と協力できる。

選考方法の趣旨

I. 食料生産学科

【学校推薦型選抜ⅠA】

国語、英語、理科・数学系の3教科からなる総合問題により、高等学校等で修得する「知識・技能・理解」と「思考・判断」力を評価します。また、面接(口頭試問を含む。)により、高等学校等で履修する教科・科目についての基礎的な知識、食料生産に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自分の考えをまとめ、表現する力を有しているかを評価します。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

【学校推薦型選抜ⅠB】

国語、英語、理科・数学系の3教科からなる総合問題により、高等学校等で修得する「知識・技能・理解」と「思考・判断」力を評価します。また、面接(口頭試問を含む。)により、高等学校等で履修する教科・科目についての基礎的な知識、食料生産に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自分の考えをまとめ、表現する力を有しているかを評価します。なお、「専門教育を主とする学科」からの受験者には農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術を有しているかを、「総合学科」からの受験者には高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有しているかを、面接(口頭試問を含む。)の中で評価します。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

II. 生命機能学科

【学校推薦型選抜 I A】

国語、英語、理科・数学系の3教科からなる総合問題により、高等学校等で修得する「知識・技能・理解」と「思考・判断」力を評価します。また、面接（口頭試問を含む。）により、高等学校等で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生命機能に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自分の考えをまとめ、表現する力を有しているかを評価します。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

【学校推薦型選抜 I B】

国語、英語、理科・数学系の3教科からなる総合問題により、高等学校等で修得する「知識・技能・理解」と「思考・判断」力を評価します。また、面接（口頭試問を含む。）により、高等学校等で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生命機能に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自分の考えをまとめ、表現する力を有しているかを評価します。なお、「専門教育を主とする学科」からの受験者には生命化学、食品科学などに関する専門的な知識・技術を有しているかを、「総合学科」からの受験者には高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有しているかを、面接（口頭試問を含む。）の中で評価します。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

III. 生物環境学科

【学校推薦型選抜 I A】

国語、英語、理科・数学系の3教科からなる総合問題により、高等学校等で修得する「知識・技能・理解」と「思考・判断」力を評価します。また、面接（口頭試問を含む。）により、高等学校等で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生物環境に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自分の考えをまとめ、表現する力を有しているかを評価します。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

【学校推薦型選抜 I B】

国語、英語、理科・数学系の3教科からなる総合問題により、高等学校等で修得する「知識・技能・理解」と「思考・判断」力を評価します。また、面接（口頭試問を含む。）により、高等学校等で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生物環境に関する様々な問題への関心とこれらの問題への解決意欲、自分の考えをまとめ、表現する力を有しているかを評価します。なお、「専門教育を主とする学科」からの受験者には森林、農業土木、環境などに関する専門的な知識・技術を有しているかを、「総合学科」からの受験者には高等学校等で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術を有しているかを、面接（口頭試問を含む。）の中で評価します。さらに、面接と調査書・活動報告書により、「主体性・協働性」を評価します。

2

学校推薦型選抜の概要

国公立大学への学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部等に限られ、合格した場合は、入学を確約できることを出願資格とします。

なお、出願した学部・学科等において、必要不可欠な資質を評価・審査するため、合格者が募集人員に満たない場合があります。満たさない募集人員は、一般選抜に加えて選抜を実施します。

(1) 学校推薦型選抜Ⅰ

出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを課さずに、総合問題、小論文、面接、口頭試問、出願書類に基づき、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定し、合格者を決定します。

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ

出身学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストを課し、大学入学共通テスト、総合問題、小論文、面接、集団面接、口頭試問、出願書類に基づき、入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定し、合格者を決定します。

なお、各学部・学科等が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は、学校推薦型選抜Ⅱの合格者になることができません。

3

募集人員

※推薦できる人数については、分校と本校とは別に1校として取り扱います。また、複数の課程（全日制、定時制、通信制）を置く学校については、各課程ごとに別枠で推薦できるものとします。

※「高等学校」には、中等教育学校を含みます。（以下同じ。）

区分	学部	学科・課程等	募集人員(人)	備 考	
学校推薦型選抜Ⅰ	法文学部	人文社会科学	「昼間主コース」	15	1学校につき3人以内とする。
			「夜間主コース」	10	1学校につき3人以内とする。注1
	理学部	理学科	生物学コース	7	1学校につき3人以内とする。
			地学コース	12	〃
	工学部	工学科	機械工学コース	2	工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象
			知能システム学コース	1	〃
			電気電子工学コース	5	〃
			コンピュータ科学コース	1	普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象
			材料デザイン工学コース	3	普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象
			化学・生命科学コース	7	普通科、理数に関する学科又は総合学科対象
			社会基盤工学コース	10	普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象 1高等学校につき2人以内とする。
	農学部	食料生産学科		4	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕
				10	推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕
		生命機能学科		3	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕
				3	推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕
		生物環境学科		9	推薦A〔普通科又は理数に関する学科対象〕
		7	推薦B〔専門教育を主とする学科又は総合学科対象〕		
学校推薦型選抜Ⅱ	教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	10	1学校につき2人以内とする。
			小学校教育サブコース		
			言語社会教育サブコース		
			科学教育サブコース		
	理学部	理学科	数学・数理情報コース	10	1学校につき3人以内とする。
			物理学コース	5	〃
			化学コース	8	〃
	医学部	医 学 科		25	推薦A（学校推薦） 1学校につき5人以内とする。
				5注2	推薦B（地域特別枠推薦）
		看護学科	18	推薦A（学校推薦）	
	工学部	工学科	機械工学コース	12	推薦B（地域特別枠推薦）
			知能システム学コース	3	
			電気電子工学コース	8	
コンピュータ科学コース			4		
応用情報工学コース			4		
材料デザイン工学コース			12	普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象	
化学・生命科学コース			13	〃	

注1 詳細は33ページを参照してください。

注2 医学部医学科学校推薦型選抜ⅡB（地域特別枠推薦）については、現時点で確定している募集人員は5名であるが、これを20名となるように現在認可申請中です。確定次第、本学のホームページに掲載します。

4

出 願 要 件

学校推薦型選抜Ⅰ

学部	学科・課程等	出 願 要 件
法 文 社 会 学 部	「昼間主コース」	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者 ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者 ② 合格した場合は入学を確約できる者
	「夜間主コース」	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者 ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内（既卒者を除く。）とする。 (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者 ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者 ② 合格した場合は入学を確約できる者
理 学 部	生物学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
	地学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
工 学 部	機械工学コース (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)	高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	知能システム学コース (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)	高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	電気電子工学コース (工業に関する学科又はそれに準ずる課程対象)	高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	コンピュータ科学コース (普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	材料デザイン工学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	化学・生命科学コース (普通科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、理数に関する学科又は総合学科（ただし、いずれも「化学若しくは理数化学」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学業成績、人物ともに優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
	社会基盤工学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの ただし、推薦できる者は、1高等学校につき2人以内とする。 (1) 全体の評定平均が4.0以上の者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者
社会デザインコース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの ただし、推薦できる者は、1高等学校につき2人以内とする。 (1) 全体の評定平均が4.0以上の者のうち、人物が優秀なもの (2) 合格した場合は入学を確約できる者	

学部	学科・課程等		出 願 要 件
農 学 部	食料生産学科 生命機能学科 生物環境学科	(普通科又は理数に関する学科対象) 〔推薦A〕	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者 ① 普通科又は理数に関する学科を卒業又は修了見込みの者 ② 学力、人物が優秀な者 ③ 合格した場合は入学を確約できる者 ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者
		(専門教育を主とする学科又は総合学科対象) 〔推薦B〕	次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者 ① 専門教育を主とする学科（理数に関する学科を除く。）、総合学科を卒業又は修了見込みの者 ② 学力、人物が優秀な者 ③ 合格した場合は入学を確約できる者 ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者

学校推薦型選抜Ⅱ

学部	学科・課程等		出 願 要 件
教育 学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	高等学校を令和7年3月卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき2人以内とする。
		初等中等教育科コース	
		言語社会教育サブコース	
		科学教育サブコース	
理 学 部	理 学 科	数学・数理情報コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
		物理学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
		化学コース	次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
医 学 部	医 学 科	推薦A (学校推薦)	以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、医学の研究者あるいは臨床医としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの。ただし、推薦できる者は、1学校につき5人以内とする。 (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
		推薦B (地域特別枠推薦)	・愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること ・幅広い総合的な診療能力を身につけることを通して、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること ・合格した場合は入学を確約できること ・入学後に愛媛県の奨学金を受給し、卒業後に愛媛県知事が指定する医療機関において9年間以上勤務する義務に同意すること 以上の全てについて学校長が責任をもって推薦できる者で、以下のいずれかに該当するもの (1) 愛媛県内の高等学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
	看護学科	推薦A (学校推薦)	以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、看護学・保健学の研究者、教育者あるいは臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者

学部	学科・課程等		出 願 要 件
医 学 部	看護 学 科	推薦B (地域特別枠推薦)	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍する高等学校、あるいは出身学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上で人物が優秀であること ・臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できること ・愛媛県内の中山間地域や離島などの保健・医療に貢献する強い意思を持っており、合格した場合は誓約書を提出できること ・入学後は地域における実習プログラムを受講できること 以上の全ての要件に該当する者で、将来、愛媛県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）としてその業務に従事しようとする者のうち、以下のいずれかに該当するもの (1) 愛媛県内の高等学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者 (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
		機械工学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ及び数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
工 学 部	工 学 科	知能システム学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ及び数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		電気電子工学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ及び数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）若しくは理数数学Ⅱ」、「物理若しくは理数物理」、「化学若しくは理数化学」の全てを修得又は修得見込みの者）を令和7年3月に卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		コンピュータ科学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		応用情報工学コース	高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		材料デザイン工学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者
		化学・生命科学コース (普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科対象)	高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの (1) 学習成績及び人物が優秀な者 (2) 合格した場合は入学を確約できる者

注意： 国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。詳細は、公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）を参照のこと）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含める。）への出願は、1つの大学・学部に限られています。

ただし、1つの大学・学部の学校推薦型選抜募集単位（学科・課程）について、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜で不合格となった場合は、同一の学科・課程の大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜に出願することができます。

(1) 出願方法等（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

インターネット出願サイト

(URL) <https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>

以下の方法により、出願手続をしてください。

- ① インターネット出願サイトへのユーザー登録
- ② 出願情報の入力
- ③ 検定料の支払*
- ④ 出願書類の郵送
- ⑤ 受験票のダウンロード・印刷

これらの詳細な手続きについては、19ページから22ページを確認してください。



* 検定料免除の特例措置について

自然災害により被災した進学希望者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、以下に該当する場合は、検定料免除の特例措置を行います。

自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- (1) 学資負担者又は志願者が災害救助法の適用を受けた地域に所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊又は流失した場合
- (2) 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で、当該災害により死亡又は行方不明となった場合

※ 免除の対象となる入学試験：災害救助法適用日以降で、当該災害救助法適用日の属する年度内に実施される入学試験

詳細は本学ホームページ (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/natural-disasters-exemption/>) をご覧ください。

(2) 出願受付期間

学校推薦型選抜 I

法文学部	人文社会学科「昼間主コース」、「夜間主コース」
理学部	理学科 生物学コース、地学コース
工学部	工学科 機械工学コース、知能システム学コース 電気電子工学コース、コンピュータ科学コース 材料デザイン工学コース、化学・生命科学コース 社会基盤工学コース、社会デザインコース
農学部	食料生産学科、生命機能学科、生物環境学科

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたものうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

学校推薦型選抜Ⅱ

教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	小学校教育サブコース
		初等中等教科コース	言語社会教育サブコース
		〃	科学教育サブコース
		〃	生活健康・芸術教育サブコース
理学部	理学科	数学・数理情報コース、物理学コース、化学コース	
医学部	医学科、看護学科		

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたものうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

工学部	工学科	機械工学コース、知能システム学コース
		電気電子工学コース、コンピュータ科学コース
		応用情報工学コース、材料デザイン工学コース
		化学・生命科学コース

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたものうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。	

(3) 出願書類の送付先（学校推薦型選抜Ⅰ、Ⅱ共通）

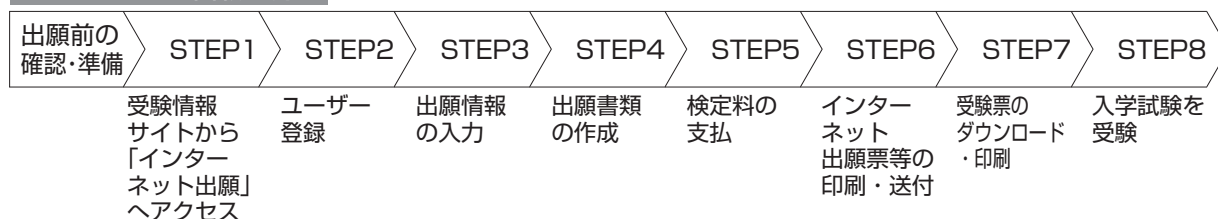
出願書類の送付方法については、21ページ「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」を参照してください。

学部	送付先	所在地	電話番号
法文学部	法文学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9221
教育学部	教育学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9377
理学部	理学部入試係	〒790-8577 松山市文京町2番5号	089-927-9546
医学部	医学部入試係	〒791-0295 東温市志津川	089-960-5869
工学部	工学部入試係	〒790-8577 松山市文京町3番	089-927-9697
農学部	農学部入試係	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号	089-946-9648

(4) 出願から受験までの流れ

1) 出願手順

インターネット出願の流れ



出願情報の入力完了しても、検定料の支払期間になるまでは先の操作（STEP5）に進むことができません。

出願前の確認・準備

①インターネット環境の確認

パソコンやスマートフォン、タブレット端末からインターネットを通じて出願情報の登録を行います。一部の携帯電話では利用できない可能性があります。次の推奨環境を満たすパソコン等を用意してください。

また、自宅にインターネット環境がない場合も、学校や知人等、次の推奨環境を満たすパソコン等を利用できるように確認してください。

【推奨環境】

パソコン	Windows : Microsoft Edge (最新バージョン) Google Chrome (最新バージョン) Firefox (最新バージョン)
	MacOS : Safari (最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android : 12.0以上 (Android Chrome最新バージョン) iOS : 15.0以上 (Safari最新バージョン)
ブラウザの設定 : JavaScriptを有効にする。Cookieを有効にする。 その他必要なソフトウェア条件 : インターネット出願票等をPDFフォーマットで確認する場合は、Adobe Reader 11.0以上を推奨します。	

【注意】

- ・セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問合せください。
- ・スマートフォン、タブレットを利用する場合、機種によって対応できないものがあります。

②印刷できる環境の確認

インターネット出願票等のPDFファイルを印刷するために、印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は、学校、コンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③メールアドレスの準備

出願登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（GmailやYahoo!メールなど）や携帯電話のメールアドレスでもかまいませんが、携帯メールの場合は、「@postanet.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。

出願登録完了時・検定料支払い完了時等に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

④検定料支払方法の確認

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）を利用できます。

23ページの「2)支払方法」を確認の上、支払方法を決定してください。

⑤写真・必要書類の準備

インターネット出願では顔写真のデータ（JPEG形式、3MBまで）のアップロードが必要です。上半身、無帽、正面向きで3ヵ月以内に撮影したものをあらかじめ準備しておいてください。カラー・白黒は問いません。また、出願サイトに写真データをアップロードした後で写真を回転し、上半身を縦4：横3のサイズに切り出すこともできます。

なお、インターネット出願では、紙にプリントされた写真は使用できません。

また、調査書等の必要書類も準備しておいてください。必要書類の詳細については、24ページの「3)出願書類」で確認してください。

⑥封筒の準備

出願用〔角形2号封筒（24cm×33.2cm）〕及び第1段階選抜結果通知送付用〔長形3号封筒（12cm×23.5cm）〕（該当する者のみ）の市販の封筒が必要です。詳細は、24ページの「3)出願書類」の表中「返信用封筒」で確認してください。

STEP1 受験情報サイトから「インターネット出願」へアクセス

受験情報サイト>インターネット出願
<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>



※画像は全て見本であり、変更となる場合があります。

四国国立5大学インターネット出願(ログイン画面)



STEP2 ユーザー登録

「新規登録」からユーザーID（メールアドレス）を登録すると、パスワード設定用のURLを記載したメールが配信されます。パスワードを設定するとユーザー登録が完了します。あらかじめ「@postanet.jp」からのメールを受け取れるよう設定してください。

STEP3 出願情報の入力

「STEP2 ユーザー登録」で設定したユーザーID・パスワードでログインし、「愛媛大学」を選択後、画面に沿って出願先、個人情報（写真データを含む。）等を入力してください。

学部・入試区分選択画面



志望学科課程等選択画面



志願者情報の入力画面



写真アップロード画面



次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。

STEP4 出願書類の作成（学部により種類が異なります。）

25ページ「(5) 出願書類入力上の注意」をよく読んで入力してください。

- 法文学部：「活動報告書」
- 教育学部：「調書」、「活動報告書」
- 理学部：「活動報告書」
- 医学部（医学科 推薦A、看護学科 推薦A）：「活動報告書」
- 医学部（医学科 推薦B、看護学科 推薦B）：「自己推薦書」、「活動報告書」
- 工学部：「活動報告書」
- 農学部：「活動報告書」

次のステップに進む前に、確認画面で誤字や入力間違い等がないか、必ず確認してください。これ以降は修正できません。

STEP5 検定料の支払

(令和6年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時
学校推薦型選抜Ⅱ 工学部については令和6年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時)

支払方法を選択し、支払手続に進んでください。(詳細は23ページ「2」支払方法)を参照。)

【注意】

コンビニエンスストア及びPay-easyが利用可能な金融機関ATMでの支払は、支払方法確定後に取扱い店舗で支払手続を行う必要があります。支払手続の際に受付番号等を使用するため、表示される支払に必要な情報をメモしてください。

(例)コンビニエンスストアを選択した場合の画面

ファミリーマートでのお支払い	FamilyMart
お支払い金額	xx,xxx円
第1番号(企業コード)	xxxxx
第2番号(注文番号)	xxxxxxxxxxxx
支払期限	xxxx年xx月xx日
お支払い店舗	xxxxxx @ xxx.xxx.jp

お支払い手順
1. このページを印刷、または「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」を正確に入力してください。
2. ファミリーマートの「マルチコピー機」のトップメニューから「代金支払い用紙」を選択し、「第1番号(企業コード)」と「第2番号(注文番号)」の順に入力してください。
3. 発券された「申込券」をレジで提示し、お支払いください。

支払手続が完了しないと、「STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付」には進めません。

STEP6 インターネット出願票等の印刷・送付

検定料支払後にインターネット出願サイトにログインし、「出願履歴」にある「詳細を確認」にアクセスし、「インターネット出願票ダウンロード」「宛名票ダウンロード」ボタンをクリックして、インターネット出願票・宛名票等をダウンロードしてください。
※活動報告書等の出願書類は「インターネット出願票ダウンロード」ボタンをクリックした際に添付されます。

インターネット出願票・宛名票等の確認

A4サイズで片面印刷してください。カラー・白黒は問いません。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

出願書類の確認

必要な出願書類を確認してください。出願書類に不備があるものは受け付けません。出願書類については、24ページ「3」出願書類)を確認してください。

郵送の準備

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に「宛名票」を貼り、「宛名票」の出願書類等確認欄にチェックを入れて、出願書類を封入してください。郵送中に「宛名票」が破損したため、封筒裏面に志願者の住所・氏名を記入してください。

▼角2封筒に宛名票(A4)を貼りつけてください。



郵送

「速達・簡易書留郵便」で郵送してください。

【注意】

インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払手続を行っただけでは出願手続完了にはなりません。

インターネットで入力が完了していても、出願書類が期間内に郵送されていない場合は、出願を受理しないので、注意してください。

STEP7 受験票のダウンロード・印刷

下記期間中にインターネット出願サイトにログイン後、「出願履歴」にある「詳細を確認」にアクセスし、「受験票ダウンロード」ボタンをクリックして受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードした「受験票」には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

受験票ダウンロード期間	
学校推薦型選抜 I 及び学校推薦型選抜 II の教育学部、理学部及び医学部	令和 6 年 11 月 15 日(金)10時～令和 6 年 11 月 24 日(日)19時
学校推薦型選抜 II の工学部	令和 6 年 12 月 24 日(火)10時～令和 7 年 2 月 1 日(土)19時

※ダウンロード開始日時は変更する場合があります。その場合は、受験情報サイト (<https://juken.ehime-u.ac.jp>) でお知らせします。

STEP8 入学試験を受験

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

2) 支払方法

【検定料】17,000円（法文学部「夜間主コース」は10,000円）

※別途、手数料が550円かかります。

クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング）の3種類の支払方法があります（支払方法／取扱い金融機関は、下にあるものに限ります）。それぞれの手続等の注意事項を確認の上、支払方法を決定してください。一度選択した支払方法は変更できませんので、注意してください。

なお、支払済の検定料は32ページの「(7) 検定料の返還」の返還請求できる場合を除き、返還しません。

【支払期間】

令和6年11月1日(金)0時～11月7日(木)16時

(学校推薦型選抜Ⅱ工学部については、令和6年12月9日(月)0時～12月13日(金)16時)

クレジットカード（日本国内・国外とも利用可）		
<ul style="list-style-type: none"> • Visa • MasterCard • JCB • Amex • Diners 	<p>これ以外のカードは利用できません。 カードの名義は志願者本人の名義でなくても可 支払方法は一括払のみ (カードの利用限度額を確認した上で利用してください。)</p>	
コンビニエンスストア（日本国内のみ利用可）		
21ページ「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下のコンビニエンスストアで支払手続をしてください。		
<ul style="list-style-type: none"> • セブンイレブン 		レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • ローソン • ミニストップ 		「Loppi」で手続後、レジで現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • ファミリーマート 		「マルチコピー機」で手続後、レジで現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • デイリーヤマザキ • ヤマザキデイリーストアー 		レジで「オンライン決済」と伝えて手続後、現金支払
<ul style="list-style-type: none"> • セイコーマート 		レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後、現金支払
Pay-easy（ペイジー）（日本国内のみ利用可）		
21ページ「STEP5 検定料の支払」で支払方法を確定し、以下の金融機関ATM又はインターネットバンキングで支払手続をしてください。		
<ul style="list-style-type: none"> • 金融機関ATM 対象金融機関（ゆうちょ銀行等）のPay-easyロゴが付いているATM（銀行ATM端末に表示されるメニュー名称が銀行によって異なります。）で支払うことができます。 コンビニ窓口・コンビニATMは使えません。 ATMで「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 • インターネットバンキング インターネットバンキングは事前に対象金融機関への登録が必要です。インターネットバンキングにログイン後、「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続を行ってください。 志願者本人の名義でなくても可 		

上記の情報は、学生募集要項作成時のもので、今後変更されることがあります。
最新情報は、出願サイトで確認してください。

インターネット出願の操作方法・支払方法に関する問合せ
出願操作サポート窓口（コールセンター）
受付期間：出願受付期間中
受付時間：9時～17時（土日・祝日を除く。）
電話番号：075-341-8620（運営会社：京都電子計算株式会社）

3) 出願書類

下記の書類等を一括して送付してください。

印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は、該当箇所を二重線で取り消して、修正内容を赤字で記載し提出してください。

出願後、住所（志願者連絡先）が変わった場合は、速やかに志願学部入試係に連絡してください。

書類等	摘 要	送付を要する者
インターネット出願票	<p>出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>なお、学校推薦型選抜Ⅱに出願する者のうち、工学部に出願するものは所定の箇所に「令和7共通テスト成績請求票[推薦]国公立推薦型選抜用」を必ず貼ってください。</p> <p>出願書類提出時に、成績請求票（共通テスト受験票）が届いていない場合には、成績請求票貼付欄に「成績請求票未着」と朱書きして出願してください。</p> <p>なお、成績請求票は到着次第、速やかに18ページ「(3) 出願書類の送付先」へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。</p> <p>教育学部、理学部及び医学部にあつては出願時に「令和7共通テスト成績請求票[推薦]国公立推薦型選抜用」を貼る必要はありません。</p>	<p>全 員</p> <p>ただし、共通テスト成績請求票は、学校推薦型選抜Ⅱの工学部に出願する者のみ</p>
推 薦 書	<p>大学ホームページ（https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/）からダウンロードした本学所定の様式（A4片面1枚）に、出身学校長が手書き又はパソコン等（10.5pt）で作成し、厳封したものの記入にあたっては、86ページ「10 推薦書記入上の注意」を参照してください。</p>	全 員
確 約 書	<p>出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷し、必要事項を手書きで記入したもの</p>	医学部医学科推薦B（地域特別枠推薦） 志願者のみ
誓 約 書 （愛媛県提出用）	<p>出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p>	
調 査 書	<p>出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷し、必要事項を手書きで記入したもの</p> <p>出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>詳細は25ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。</p>	教育学部志願者のみ
自 己 推 薦 書	<p>出願サイトに入力後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>詳細は25ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。</p>	医学部医学科推薦B（地域特別枠推薦） 及び看護学科推薦B（地域特別枠推薦） 志願者のみ
調 査 書	<p>文部科学省所定の様式（過年度卒業生については、従前の様式（以下「旧調査書」という。）も可）により出身学校長が作成し、厳封したもの*</p>	全 員
活 動 報 告 書	<p>出願サイトに入力後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷したもの 出願サイトからは、検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。</p> <p>〔法文学部・理学部〕活動報告書A（必須）、活動報告書C（任意） 入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・Cすべて（合計4枚）印刷の上、郵送してください。</p> <p>〔教育学部〕活動報告書A・B・Cのうち1種類以上 入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・B・Cすべて（合計5枚）印刷の上、郵送してください。</p> <p>〔医学部〕活動報告書Aのみ 〔工学部〕活動報告書A（必須）、活動報告書C（任意） 〔農学部〕活動報告書A（必須）、活動報告書C（任意）</p> <p>なお、農学部志願者は、「活動報告書」Aの入力内容において、資格検定等がある場合は、「活動報告書」Cへも入力してください。</p> <p>詳細は25ページ「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。</p>	全 員

* 教育学部志願者は、「8. 備考」の欄には、出身（在籍）学校又はその学科の特性を生かした学習の成果や、高大連携活動等による成果があれば記入してください。

書 類 等	摘 要	送付を要する者
活動報告書の参考資料	<p>[法文学部・理学部・工学部・農学部] 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>[教育学部] 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） 「活動報告書」Bの入力内容を補足、アピールする資料(任意) 「活動報告書」Cに入力した資格、検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>[医学部] 「活動報告書」Aの入力内容を補足、アピールする資料（任意） Aに入力した資格・検定等の合格証書、認定書、スコアシート等のコピー（必須）</p> <p>詳細は下記の「(5) 出願書類入力上の注意」を参照してください。</p>	全 員
返信用封筒（第1段階選抜結果通知送付用）	<p>市販の長形3号封筒（12cm×23.5cm）に、出願サイトからダウンロードし、A4サイズで片面印刷後切り抜いた返信用封筒宛名ラベルを貼ったもの 返信用封筒宛名ラベルは、出願サイトからは検定料支払手続完了後、ダウンロードできるようになります。 760円分の切手を必ず貼ってください。</p>	理学部の学校推薦型選抜Ⅱ、教育学部、医学部医学科及び看護学科推薦A(学校推薦) 志願者のみ

- * インターネット出願票等提出後は、いかなる理由があっても記載内容の変更は認められませんので、インターネット出願情報入力の際は、該当事項をよく読んで誤りのないよう正確に入力してください。
また、出願書類は返還しません。
- * 愛媛大学の「活動報告書」は四国国立5大学の共通様式をベースにしています。いつからでも下記のサイトを利用することにより、活動報告書の準備ができます。
四国国立5大学進学支援サイト（URL：<https://portal.postanet.jp/shikoku/>）

(5) 出願書類入力上の注意

法 文 学 部 理 学 部

活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」とC「資格・検定等」の2種類あります。このうち、A「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。C「資格・検定等」に関しては、入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。入力していないものも含めて、A（1件目、2件目、3件目）・Cすべて（合計4枚）印刷の上、郵送してください。

次のA・Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

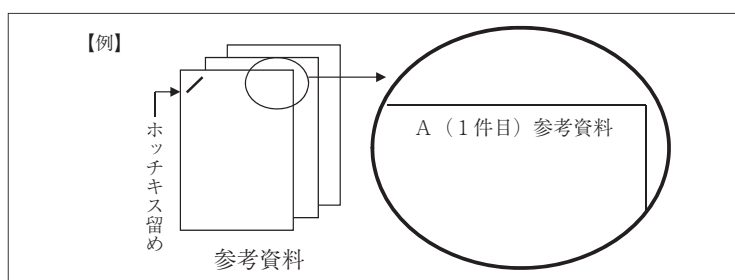
(1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。

* 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。

(2) 入力項目は以下のとおりです。

- ① 活動の名称
- ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
- ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
- ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については次頁の(4)を参照してください。）

- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。(例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事) この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ③ 参考資料はA 4サイズの紙(コピーでも原本でも可)で提出(他の出願書類と一緒に郵送)してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A 4サイズの紙に貼り付けるか、A 4サイズの用紙にコピーしてください。なお、参考資料は返還しません。(注)法文学部については、参考資料は1件につき片面4枚以内とします。
 - ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めしてください。1枚目の右肩に「A (〇件目) 参考資料」と明記してください。「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。



C 「資格・検定等」

- (1) 入力任意(該当する事柄がある場合のみ入力)です。
- (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績(スコア)等と取得等の時期を入力します。
- (3) 取得等の時期は問いません。
- (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。
- (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に書かれている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。
- (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出(他の出願書類と一緒に郵送)してください。コピーはA 4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

教育学部

調書

志望の動機について、志願者本人が作成してください。1,000文字まで入力できます。

活動報告書

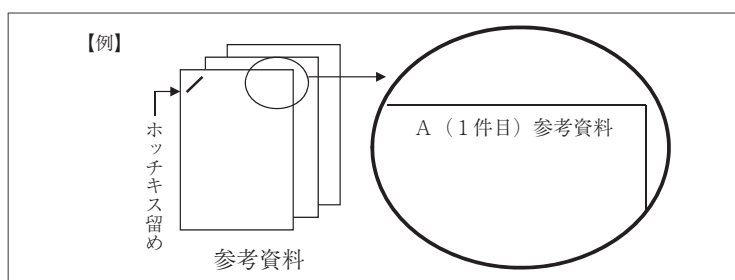
A、B、Cの3種類のうち1種類以上を必ず入力し、入力していないものも含めて、A(1件目、2件目、3件目)・B・Cすべて(合計5枚)を印刷の上、郵送してください。

- A 「意欲的に取り組んだ活動」
- B 「課題研究等」
- C 「資格・検定等」

次のA～Cの注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A 「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動（吹奏楽・合唱・ピアノ独奏・造形活動・展覧会発表など）、趣味・特技に関する活動などが該当します。ただし、課題研究等に関する活動はA「意欲的に取り組んだ活動」ではなく、B「課題研究等」に入力してください。
- (2) 入力項目は以下のとおりです。
 - ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6カ月以上1年未満」「3カ月以上6カ月未満」「3カ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）これは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を提出することができます。
 - ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の提出は任意ですが、添付する場合は「添付する参考資料の一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ③ 参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A4サイズ用の紙にコピーしてください。資料は、1件目から3件目までそれぞれA4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。
 - ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めし、1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。なお、活動報告書Aはホッチキス留めせずに提出してください。
 - ⑤ 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。



B 「課題研究等」

- (1) 課題研究等について入力してください。課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするものです。
- (2) 複数の課題研究等を行った場合は、あなたが最も重要だと思う1件について、入力してください。
- (3) 「概要や成果の説明」及び「補足」として、それぞれ300字まで入力できます。これらは上限であり、無理に300字に近づける必要はありません。
- (4) 課題研究等に関して大学から問い合わせを行うことがありますので、「この課題研究等に関する問い合わせ先（指導教員名）」の欄に指導教員名等を入力してください。指導教員等が在籍（出身）校の教員でない場合は、その教員の所属も入力してください。指導教員等がない場合は、入力する必要はありません。

(5) 次の要領で参考資料を提出することができます。

- ① 参考資料は(3)の内容を補足したり、その内容をアピールしたりするためのものです。
- ② 参考資料の提出は任意です。提出する場合は、「3. 課題研究等の概要や成果」欄に何を提出するか明記してください。
- ③ 参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙に貼り付けるのではなく、A4サイズ用の紙にコピーしてください。資料はA4の表面10枚以内とし、裏面は使用しないでください。
- ④ 紙以外の参考資料を必要とする場合は、大学から指示をすることがあります。

C「資格・検定等」

- (1) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等について入力してください。取得等の時期は問いません。
- (2) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (3) 合格証書や認定書、スコアシート等（以下証拠書類）が手元にない場合は入力してはいけません。
- (4) 「資格・検定・試験等の名称」は、証拠書類に記載された正式名称を入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (5) 「取得等の年月」の欄は、証拠書類に即して入力してください。
- (6) 証拠書類のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。出願サイトから提出することはできません。証拠書類は返還しませんので、原本ではなくコピーを提出してください。コピーはA4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合は原本を提示してください。例えば、受験の際に原本を持参するよう、事前に連絡することがあります。

医 学 部

自己推薦書

医学科推薦B（地域特別枠推薦）

63ページの「愛媛大学医学部の基本理念等（医学部医学科推薦B（地域特別枠推薦）用）」を参照しつつ、志願者本人が入力してください。2,000字まで入力できます。

看護学科推薦B（地域特別枠推薦）

68ページの「愛媛大学医学部の基本理念等（医学部看護学科推薦B（地域特別枠推薦）用）」を参照しつつ、志願者本人が入力してください。1,000字まで入力できます。

活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」のみ提出してください。

次の注意事項をよく読んでから、志願者本人が入力してください。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について入力してください。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動、資格・検定の取得などが該当します。
* 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。

- (2) 入力項目は以下のとおりです。
- ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」として入力できるのは1件のみです。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 資格・検定の取得に関する事柄を入力する場合は、合格証書や認定書、スコアシート等のコピーを必ず添付してください。その他の活動に関する参考資料の添付は任意です。
 - ③ 参考資料を添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ④ 参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、用紙へ貼り付けるのではなく、A4サイズ用の紙にコピーしてください。資料はA4の表面1枚とし、裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。
 - ⑤ 参考資料の右肩に氏名を記入し、「A 参考資料」と明記してください。

工 学 部

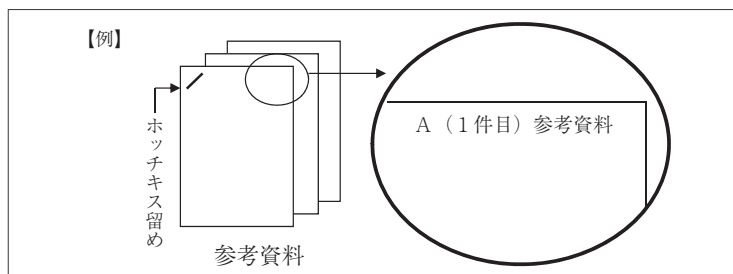
活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」とC「資格・検定等」の2種類あります。このうち、A「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。C「資格・検定等」に関しては、入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動などが該当します。
- * 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。
- (2) 入力項目は以下のとおりです。
- ① 活動の名称
 - ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。

- ③ 参考資料はA 4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA 4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A 4サイズの紙に貼り付けるか、A 4サイズの用紙にコピーしてください。なお、参考資料は返還しません。
- ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めしてください。1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。（「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。）



C「資格・検定等」

- (1) 入力任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。
- (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等と取得等の時期を入力します。
- (3) 取得等の時期は問いません。
- (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。
- (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に記載されている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。
- (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。コピーはA 4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

農 学 部

活動報告書

活動報告書は、A「意欲的に取り組んだ活動」とC「資格・検定等」の2種類あります。このうち、A「意欲的に取り組んだ活動」に関する入力項目は必須です。C「資格・検定等」に関しては、入力任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。

A「意欲的に取り組んだ活動」

- (1) 中学校卒業以降に行った「意欲的に取り組んだ活動」について記入します。学校での活動であれば、課題研究等*、スポーツや文化的な活動、インターンシップ、生徒会活動、強い興味のある教科に関する学習などが該当します。学校外の活動であれば、留学、ボランティア活動、就労経験、家事・家業、スポーツ活動、芸術文化活動、趣味・特技に関する活動、資格・検定の取得などが該当します。

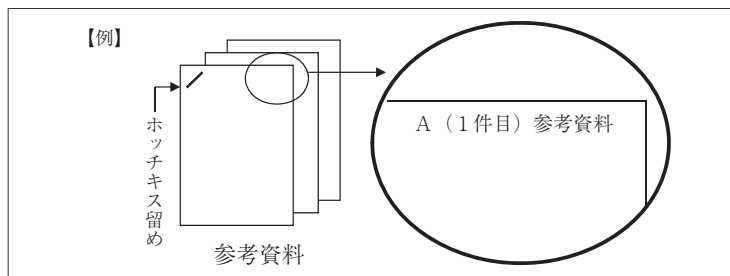
なお、資格・検定の取得を入力する場合は、C「資格・検定等」へも入力し、参考資料を添付してください。

* 課題研究等とは、高等学校等において個人又はグループで、関心のある事柄について計画的に学習を深めたり、疑問を解明したりしようとするもの。

- (2) 入力項目は以下のとおりです。

- ① 活動の名称

- ② 活動期間（「2年以上」「1年以上2年未満」「6ヵ月以上1年未満」「3ヵ月以上6ヵ月未満」「3ヵ月未満」から選択します。）
 - ③ 活動の説明（例えば、努力や成果、集団活動の場合は役割や貢献について300字以内で入力します。）
 - ④ 添付する参考資料の有無とその内容（参考資料については下の(4)を参照してください。）
- (3) 「意欲的に取り組んだ活動」が複数ある場合は、3件まで入力できます。3件は上限であり、この件数だけで評価することはありません。
- (4) 次の要領で参考資料を添付することができます。
- ① 参考資料は、(2)の内容を補足したり、アピールしたりするためのものです。
 - ② 参考資料の添付は任意ですが、添付する場合は、「添付する参考資料一覧」の欄に何を添付するかを入力してください。（例：令和〇年〇月〇日△△新聞の記事）この入力欄は、「(参考資料を)添付する」を選択した場合に表示されます。
 - ③ 参考資料はA4サイズの紙（コピーでも原本でも可）で提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。サイズが異なるものは拡大したり縮小したりしてA4サイズに整えてください。写真などの小型のものは、A4サイズの紙に貼り付けるか、A4サイズの用紙にコピーしてください。参考資料は、A4の表面とし裏面は使用しないでください。なお、参考資料は返還しません。
 - ④ 参考資料は1件目、2件目、3件目ごとにホッチキス留めしてください。1枚目の右肩に「A（〇件目）参考資料」と明記してください。（「意欲的に取り組んだ活動」が1件の場合は明記不要です。）



C 「資格・検定等」

- (1) 入力は任意（該当する事柄がある場合にのみ入力）です。
- (2) 取得した資格、合格した検定、英語等の試験成績（スコア）等と取得等の時期を入力します。
- (3) 取得等の時期は問いません。
- (4) 入力できる件数は、英語に関する資格・検定等は3件まで、英語以外に関する資格・検定等は10件まで、合計13件までです。英語に関する資格・検定等を4件以上入力する場合は、英語以外に関する資格・検定等の入力欄に入力してください。その場合でも、入力できる件数は合計13件までです。
- (5) 合格証書や認定書、スコアシート等が手元にない場合は入力してはいけません。
- (6) 「資格・検定・試験等の名称」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に書かれている正式なものを入力してください。ただし、一部の英語に関する検定等は、選択式となっています。
- (7) 「取得等の年月」の欄は、合格証書や認定書、スコアシート等に即して入力してください。
- (8) 合格証書、認定書、スコアシート等のコピーを必ず提出（他の出願書類と一緒に郵送）してください。コピーはA4サイズに整えてください。ただし、大学から求められた場合には原本を提示してください。例えば、面接試験を受ける際に原本を持参するよう連絡することがあります。

(6) 受験票等のダウンロード・印刷

受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、受験票をダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください（22ページ参照）。試験当日は、印刷した受験票を持参してください。

また、ダウンロードした「受験票」には、2枚目以降に連絡事項が記載されていますので、必ず確認してください。

なお、受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

(7) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〈返還請求の方法〉

上記①又は②に該当した場合は、下記の連絡先に連絡してください。「検定料返還請求書」を送付しますので、必要事項を記入の上、郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、下記の連絡先に郵送してください。

連絡先 〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号
愛媛大学財務部財務企画課出納チーム
電話番号 089-927-9074、9077
E-mail suitou@stu.ehime-u.ac.jp

(8) 注意事項

- ① 出願書類（インターネット出願の入力情報も含む。以下同じ。）受理後は、いかなる理由があっても、出願書類の記載内容の変更は認めません。ただし、住所等の個人情報の誤りや変更がある場合は、出願した学部の入試係（95ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）に連絡してください。また、出願書類は返還しません。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ③ 「愛媛大学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」は、個別学力検査等受験及び入学手続並びに入学試験個人成績の開示請求の際に必要となりますので、紛失したり、汚損したりすることのないよう大切に保管しておいてください。

法 文 学 部

人文社会学科「昼間主コース」
// 「夜間主コース」

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 人文社会学科「昼間主コース」

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者
ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内とする。

- (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
- ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者
- ② 合格した場合は入学を確約できる者

2) 人文社会学科「夜間主コース」

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①及び②の条件を満たす者
ただし、推薦できる者は、1学校につき3人以内（既卒者を除く。）とする。

- (1) 高等学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- ① 学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦できる者
- ② 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月24日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

法文学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に法文学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

小論文、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等		出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
		小論文	面接		
人文社会学科	「昼間主コース」	400	200	200	800
	「夜間主コース」	400	200	200	800

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
人文社会学科 「昼間主コース」 「夜間主コース」	小論文	以下の諸点を評価の目安とする。 1. 題意を十分把握していること。 2. 具体的な考察がなされていること。 3. 論理的な考察がなされ、論理の逸脱、飛躍がないこと。 4. 構想力が優れていること。 5. 表現力が優れていること。 6. 発想がユニークであること。 7. 誤字・脱字のないこと。	令和6年12月6日(金) 10時 法文学部本館掲示場
	面接	勉強意欲、目的意識を中心に、基礎的知識、理解力、表現力、態度などを総合的に評価する。	
	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	学業成績、人物、特別活動、多様な取り組み、入学動機、卒業後の進路などについて、評定平均値や「指導上参考となる諸事項」の記載内容を含めて、総合的に評価する。	

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の1)又は2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの

ただし、推薦できる者は、1学校につき各コース3人以内とする。

- 1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月24日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

理学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に理学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
理学科	生物学コース		200	100	300
	地学コース		200	100	300

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
理学科 生物学コース 地学コース	面接	基礎的知識・理解力・論理的思考力・表現力・目的意識・勉学意欲などについて総合的に評価する。
	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	基礎学力、学習への取り組み姿勢、主体性、他者と協働する態度などについて総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月24日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、面接は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*）、物理（物理基礎）に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
工学科	機械工学コース		400	200	600
	知能システム学コース		400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
工学科 機械工学コース 知能システム学コース	面接	基礎的知識・学力、目的意識、勉学意欲、自己表現力などについて総合的に評価する。
	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 電気電子工学コース

高等学校の工業に関する学科又はそれに準ずる課程を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

2) コンピュータ科学コース

高等学校の普通科、工業に関する学科、情報に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月24日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、電気電子工学コースの面接は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A）、物理（物理基礎、電気回路）、英語に関する口頭試問を含みます。

コンピュータ科学コースの面接は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*）に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等		計
		面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	
工学科	電気電子工学コース	400	200	600
	コンピュータ科学コース	400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
工学科 電気電子工学コース コンピュータ科学コース	面接	基礎的知識・学力、目的意識、勉学意欲、自己表現力などについて総合的に評価する。
	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

1) 材料デザイン工学コース

高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- (1) 学習成績概評Aに属する者のうち、人物が優秀なもの
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

2) 化学・生命科学コース

高等学校の普通科、理数に関する学科又は総合学科（ただし、いずれも「化学若しくは理数化学」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- (1) 学業成績、人物ともに優秀な者
- (2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月24日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、材料デザイン工学コースの面接は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*）、理科（化学基礎、物理基礎）に関する口頭試問を含みます。

* 数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。

化学・生命科学コースの面接は、本コースに関する口頭試問（化学、化学基礎に関する口頭試問）を含みます。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等	面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
工学科	材料デザイン工学コース		400	200	600
	化学・生命科学コース		400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学科等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
工学科 材料デザイン工学コース 化学・生命科学コース	面接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、自己表現力などについて総合的に評価する。
	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者
で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの
ただし、推薦できる者は、1高等学校につき各コース2人以内とする。

- 1) 全体の評定平均が4.0以上の者のうち、人物が優秀なもの
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月24日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、面接は国語、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*）、英語に関する口頭試問を含みます。

*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等		教科等		計
		面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	
工 学 科	社会基盤工学コース	400	200	600
	社会デザインコース	400	200	600

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
工学科 社会基盤工学コース 社会デザインコース	面接	目的意識、勉強意欲、基礎的知識、自己表現力などについて総合的に評価する。
	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み（課題研究を含む）及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
- ① 普通科又は理数に関する学科を卒業又は修了見込みの者
- ② 学力、人物が優秀な者
- ③ 合格した場合は入学を確約できる者
- ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー(入学者受入の方針)を理解し、志望動機が明確な者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月23日(土)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

農学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に農学部試験場掲示板(試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照)に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

総合問題、面接(口頭試問を含む。)の結果並びに提出された出願書類(推薦書、調査書、活動報告書)の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 個別学力検査等の配点

教科等	総合問題	面接	計
配点	100	100	200

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等
食料生産学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 農学部掲示板
面接	高等学校で履修する教科・科目についての基礎的な知識、食料生産に関する様々な問題への「関心」、問題解決に向けた「意欲」、「思考・判断」、「表現」、「主体性・協働性」について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
出願書類 (調査書) (活動報告書)	「主体性・協働性」について評価する。 具体的には、調査書は「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」に記載された内容を含めて評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み及び資格取得などを総合的に評価する。 これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生命機能学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 農学部掲示板
面接	高等学校で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生命機能に関する様々な問題への「関心」、問題解決に向けた「意欲」、「思考・判断」、「表現」、「主体性・協働性」について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
出願書類 (調査書) (活動報告書)	「主体性・協働性」について評価する。 具体的には、調査書は「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」に記載された内容を含めて評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み及び資格取得などを総合的に評価する。 これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生物環境学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 農学部掲示板
面接	高等学校で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生物環境に関する様々な問題への「関心」、問題解決に向けた「意欲」、「思考・判断」、「表現」、「主体性・協働性」について評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
出願書類 (調査書) (活動報告書)	「主体性・協働性」について評価する。 具体的には、調査書は「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」に記載された内容を含めて評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み及び資格取得などを総合的に評価する。 これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

(8) 履修コース

農学部では、3つの学科にそれぞれ1～3つのコース（特別コースは除く）が設置されており、2年次前学期開始時に、所属している学科のいずれか1つのコースに所属します。

（食料生産学科） 農業生産学コース、植物工場システム学コース、食料生産経営学コース

（生命機能学科） 応用生命化学コース

（生物環境学科） 森林資源学コース、地域環境工学コース、環境保全学コース
コース分属については、入学後、ガイダンス等で詳しく説明します。

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、①から④の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる者

- (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
- ① 専門教育を主とする学科（理数に関する学科を除く。）、総合学科を卒業又は修了見込みの者
- ② 学力、人物が優秀な者
- ③ 合格した場合は入学を確約できる者
- ④ 本学部及び志望学科のアドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）を理解し、志望動機が明確な者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和6年11月24日(日)

詳細については、50ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

農学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に農学部試験場掲示板（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

総合問題、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。なお、面接は、推薦書に記入された、各コースごとに実施します。

(6) 個別学力検査等の配点

学科等	教科等	総合問題	面接	計
食料生産学科	農業生産学コース	100	100	200
	植物工場システム学コース			
	食料生産経営学コース			
生命機能学科	応用生命化学コース			
生物環境学科	森林資源学コース			
	地域環境工学コース			
	環境保全学コース			

コースごとに総合点で合否を判定します。

(7) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

食料生産学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 農学部掲示板
面接	高等学校で履修する教科・科目についての基礎的な知識、食料生産に関する様々な問題への「関心」、問題解決に向けた「意欲」、「思考・判断」、「表現」、「主体性・協働性」について評価する。 なお、農業、工業、商業などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
出願書類 (調査書 活動報告書)	「主体性・協働性」について評価する。 具体的には、調査書は「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」に記載された内容を含めて評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み及び資格取得などを総合的に評価する。 これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生命機能学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 農学部掲示板
面接	高等学校で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生命機能に関する様々な問題への「関心」、問題解決に向けた「意欲」、「思考・判断」、「表現」、「主体性・協働性」について評価する。 なお、生命化学、食品科学などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術についても評価する。	
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	
出願書類 (調査書 活動報告書)	「主体性・協働性」について評価する。 具体的には、調査書は「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」に記載された内容を含めて評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み及び資格取得などを総合的に評価する。 これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。	

生物環境学科

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	題意の理解力、国語力、基礎的な英語力及び理科・数学系の論理的考察力について評価する。	令和6年12月6日(金) 10時 農学部掲示板
面接	<p>高等学校で履修する教科・科目についての基礎的な知識、生物環境に関する様々な問題への「関心」、問題解決に向けた「意欲」、「思考・判断」、「表現」、「主体性・協働性」について評価する。</p> <p>なお、森林、農業土木、環境などに関する専門的な知識・技術について、あるいは、高等学校で選択履修した教科・科目について実践的・体験的学習から得られた知識・技術についても評価する。</p>	/
推薦書	面接において参考資料とし、面接に含めて評価する。	/
出願書類 (調査書) (活動報告書)	<p>「主体性・協働性」について評価する。</p> <p>具体的には、調査書は「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」に記載された内容を含めて評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み及び資格取得などを総合的に評価する。</p> <p>これらについては、必要に応じて面接でも関連した質問を行うこととし、面接の評価点に含める。</p>	/

試験期日及び試験時間

学部	学科・課程等	試験期日等	
法文学部	人文社会科学「昼間主コース」 「夜間主コース」	令和6年11月24日(日)9:00～ 小論文(100分)、面接(口頭試問を含む。)	
理学部	理学科 生物学コース 地学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(口頭試問を含む。)	
工学部	工学科	機械工学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*)、物理(物理基礎)に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。)
		知能システム学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*)、物理(物理基礎)に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。)
		電気電子工学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A)、物理(物理基礎、電気回路)、英語に関する口頭試問を含む。)
		コンピュータ科学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*)に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。)
		材料デザイン工学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*)、理科(化学基礎、物理基礎)に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。)
		化学・生命科学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(本コースに関する口頭試問(化学、化学基礎に関する口頭試問)を含む。)
		社会基盤工学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(国語、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*)、英語に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。)
		社会デザインコース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(国語、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*、数学C*)、英語に関する口頭試問を含む。*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」とします。)
農学部	食料生産学 生命機能学 生物環境学	推薦A	令和6年11月23日(土)9:00～ 総合問題(120分)、面接(口頭試問を含む。)
		推薦B	令和6年11月24日(日)9:00～ 総合問題(120分)、面接(口頭試問を含む。)

注1 集合時間等については、ダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項に記載されていますので、必ず確認してください。

注2 受験票については、受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。試験当日は、印刷した受験票を持参してください(22ページ参照)。

なお、受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

合否判定基準

[○印が当該事項に該当することを示す。]

事 項	合 否 判 定 基 準	
	総合点で合否を判定する。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
学 部		
法 文 学 部	○	同点者は、同順位とする。
理 学 部		
工 学 部		
農 学 部		

合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

令和6年12月6日(金) 10時


(2) 合格者発表の方法

- 合格者には、合格者発表日に、合格通知書、入学手続関係書類をレターパックプラス（配達手渡しで、受取時に印鑑が必要）で郵送します。合格者の発表は、送付された合格通知書が正式なものとなりますので、必ず「合格通知書」で確認してください。
- 出身学校長へ選考結果の通知書等を送付します。
- 次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。

Webサイトに受験番号が掲載されているにもかかわらず、合格者発表日から3日経っても合格通知書が届かない場合は、受験した学部の入試係（95ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）にお問い合わせください。

Webサイト（携帯電話・パソコン共通）	
https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金)10時（予定）～令和6年12月19日(木)17時

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につなげにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

電話等による合否結果の照会には、一切応じられません。

入学手続

合格者は、下記の期間内に入学手続を行ってください。詳細については、合格通知の際にお知らせします。いかなる理由があっても、入学手続期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学辞退者として取り扱います。なお、入学手続は88ページの「11 入学手続及び初年度の諸経費」を参照してください。

入学手続期間

令和6年12月6日(金)～12月18日(水) 17時 郵送必着

7

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す。）

(1) 大学入学共通テストの数学のグループ分け

グループ	科目名
数学①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』
数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』

(2) 大学入学共通テストの共通事項

- ◎ 利用教科・科目の採用方法は、学部・学科等により異なるので、学部・学科等が指定する科目及び採用方法を必ず確認すること。
- ◎ 『地理総合／歴史総合／公共』は、「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の3つの出題範囲のうち、2つを選択解答する。
- ◎ 地理歴史と公民を2科目選択する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできない。また、『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合は、選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目（『地理総合』と『地理総合、地理探究』等）の組合せを選択することはできない。
- ◎ 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の4つの出題範囲のうち、2つを選択解答する。
- ◎ 理科における同一名称を含む出題範囲と科目とは、「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』及び「地学基礎」と『地学』をいう。
- ◎ 外国語『英語』は、リーディング及びリスニングで構成する。

(3) 旧教育課程履修者等への経過措置

- ◎ 大学入学共通テストにおける旧教育課程履修者等への経過措置については、54ページから80ページの【経過措置】のとおりである。ただし、大学入学共通テストの数学の『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』の科目を選択解答できる者は、高等学校等で当該科目を履修した者（『旧情報関係基礎』においては、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限る。
- ◎ 個別学力検査等の出題教科・科目等における旧教育課程履修者等への経過措置として、新教育課程による出題科目とこれに対応する旧教育課程との共通の内容を出題するなど、旧教育課程履修者等に不利にならないように配慮した出題を行う。

学校教育教員養成課程	教育発達実践コース	小学校教育サブコース
//	初等中等教科コース	言語社会教育サブコース
//	//	科学教育サブコース
//	//	生活健康・芸術教育サブコース

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校を令和7年3月卒業見込みの者又は通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの
ただし、推薦できる者は、1学校につき2人以内とする。

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和6年11月24日(日)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

教育学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に教育学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜


集団面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、調書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の2倍程度を合格させます。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金)10時（予定）～12月19日(木)17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和7年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票 推薦 国公立推薦型選抜用」を教育学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

2) 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		同頁(5)選抜方法等の2)第2次選抜を参照
国語	『国語』	1	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』		
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
〔3教科3科目〕			
◆「数学」において、2科目を受験している場合は、高得点の科目を採用する。			

- 注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の科目の採用方法を示します。
 注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情 報	計	集団面接	出願書類 (推薦書、調査書、 活動報告書)	
			①	②						計	
100	-	-	(100)	(100)	-	100	-	300	200	100	300

- 注1 ()は、選択科目の配点を示す。
 注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	内容及び採点・評価基準（一般的基準）
集団面接	教員を目指すという目的意識、勉学意欲、基礎的知識などについて他者に自分の言葉で伝えられる自己表現力やコミュニケーション能力、主体性などを評価する。
出願書類 (推薦書、 調査書、 活動報告書)	知識・理解、技能、思考・判断・表現、興味・関心・意欲、態度について総合的に評価する。具体的には、推薦書、調査書、調書は高等学校における人物、特記すべき活動などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が経験した多様な取り組み、課題研究及び取得資格などを通して、主体的に取り組む態度を総合的に評価する。

(9) コース等の決定

教育学部学校教育教員養成課程は、教育発達実践コース（幼年教育サブコース、特別支援教育サブコース、小学校教育サブコース）、初等中等教科コース（言語社会教育サブコース、科学教育サブコース、生活健康・芸術教育サブコース）を設けています。実践的なカリキュラムと相互に尊重し、啓発しあう学びを保障することで、確かな教育実践力と豊かな人間性とを兼ね備えた学校教員を養成します。

本課程のコース、サブコースの入学者選抜試験により、所属コース、サブコースが決定されます。入学後はコース、サブコースの変更は認められません。

(1) 出願要件及び推薦要件等

次の(1)又は(2)に該当する者で、学習成績が優秀であって、人物及び適性等について学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合には入学を確約できるもの
 ただし、推薦できる者は、1学校につき各コース3人以内とする。

- (1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和6年11月24日(日)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

理学部で実施します。

詳細については、令和6年11月23日(土)10時に理学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜


面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の1.5倍程度を合格させます。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金)10時（予定）～12月19日(木)17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和7年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票 推薦 国公立推薦型選抜用」を理学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

2) 第2次選抜

第1次選抜の成績及び大学入学共通テストの成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		前頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
国語	『国語』	1	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』	1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から2	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
情報	『情報Ⅰ』	1	
〔5教科7科目〕			

注1 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注2 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

数学・数理情報コース

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情 報	計	面 接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
			①	②							
100	-	-	100	100	100	100	50	550	400	100	500

注 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

物理学コース

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情 報	計	面 接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
			①	②							
100	-	-	75	75	150	100	50	550	400	100	500

注 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

化学コース

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情 報	計	面 接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
			①	②							
100	-	-	50	50	200	100	50	550	400	100	500

注 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

学 科 等	教科等	採点・評価基準（一般的基準）
理学科 数学・数理情報コース 物理学コース 化学コース	面 接	基礎的知識・理解力・論理的思考力・表現力・目的意識・勉学意欲などについて総合的に評価する。
	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	基礎学力、学習への取り組み姿勢、主体性、他者と協働する態度などについて総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、医学の研究者あるいは臨床医としての優れた資質を有し、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの。ただし、推薦できる者は、1学校につき5人以内とする。

- 1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和6年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に医学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜


総合問題、面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）により、合否判定基準に基づき選考し、30人程度を合格させます。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金)10時（予定）～12月19日(木)17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につなげにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和7年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票 推薦 国公立推薦型選抜用」を医学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

2) 第2次選抜

大学入学共通テストの成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		同頁(5)選抜方法等の2)第2次選抜を参照
国語	『国語』	1	
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	から1	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)		
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から2	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
情報	『情報Ⅰ』	1	
〔6教科8科目〕			
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。			

- 注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
 注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。
 注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等			
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	総合問題	面接	計
			①	②							
200	(100)	(100)	100	100	200	200	100	1000	200	200	400

- 注1 ()は、選択科目の配点を示す。
 注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

教科等	採点・評価基準(一般的基準)	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	日本語や英語の論文・文章の内容を的確に把握した上で論述、解答させることにより、読解力、論述力を評価する。また、数学や理科の基礎的な知識を基にその内容およびそれに関連した事項についての知識、計算力、記述力を評価する。	令和7年2月10日(月) 16時 医学部医学科掲示場
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	面接に含めて評価する。	

(1) 出願要件等

- ・愛媛県内の地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有すること
- ・幅広い総合的な診療能力を身につけることを通して、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指していること
- ・合格した場合は入学を確約できること
- ・入学後に愛媛県の奨学金を受給し、卒業後に愛媛県知事が指定する医療機関において9年間以上勤務する義務*に同意すること

以上の全てについて学校長が責任をもって推薦できる者で、以下のいずれかに該当するもの

- (1) 愛媛県内の高等学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

※詳細については、以下の「愛媛県キャリア形成プログラム」をご覧ください。

（愛媛県医療対策課ホームページ https://www.pref.ehime.jp/h20150/doctorbank/career_keisei.html）

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

（第1次選抜の日時）

令和6年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に医学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜


総合問題、面接、奨学金受給の確認の結果並びに提出された出願書類（推薦書、自己推薦書、調査書、活動報告書）により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の1.5～2倍程度を合格させます。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakuic.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金)10時（予定）～12月19日(木)17時	

（注） Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和7年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和7 共通テスト成績請求票 [推薦] 国公立推薦型選抜用」を医学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

2) 第2次選抜

大学入学共通テストの成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(注) 愛媛県の奨学金は学費、生活費相当を貸与するものであり、大学卒業後、研修期間を含め9年間、愛媛県内の指定医療機関で勤務すれば奨学金の返還を免除されるものです。

【奨学金に関する問い合わせ先】

愛媛県庁保健福祉部社会福祉医療局医療対策課医療政策グループ

電話番号 089-912-2449(直通)

E-mail iryotaisaku@pref.ehime.lg.jp

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テストの科目名	大学入学共通テストの利用方法
教科	科目名等			
国語	『国語』		1	同頁(5)選抜方法等の2)第2次選抜を参照
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』		から1	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)			
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』		から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』		1	
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		から2	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』		から1	
情報	『情報Ⅰ』		1	
〔6教科8科目〕				
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。				

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

【経過措置】旧課程履修者等は、以下の教科・科目を選択することができます。

大学入学共通テスト	
教科	科目名等
地理歴史	『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』
公民	『旧倫理、旧政治・経済』
数学	①『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅰ』
	②『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧数学Ⅱ』
情報	『旧情報』

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等			
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	総合問題	面接	計
			①	②							
200	(100)	(100)	100	100	200	200	100	1000	200	200	400

注1 ()は、選択科目の配点を示す。

注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は出題意図の開示日時等
総合問題	日本語や英語の論文・文章の内容を的確に把握した上で論述、解答させることにより、読解力、論述力を評価する。また、数学や理科の基礎的な知識を基にその内容およびそれに関連した事項についての知識、計算力、記述力を評価する。	令和7年2月10日(月) 16時 医学部医学科掲示場
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性、奨学金受給意思などを総合的に判断して採点・評価する。	/
出願書類 (推薦書 自己推薦書 調査書 活動報告書)	面接に含めて評価する。	/

愛媛大学医学部の基本理念等（医学部医学科推薦B（地域特別枠推薦）用）

愛媛大学医学部医学科では、地域医療の担い手となる高い使命感と倫理観を有し、地域社会において医学・医療の発展に貢献できる医師を目指す者を対象に「地域特別枠推薦」を導入しています。

下記に示す本学部の理念等を踏まえ、貴方の地域医療に対する関心、抱負などを、本学所定の「自己推薦書」に2,000字以内で入力してください。

記

愛媛大学医学部は、「教育の成果に関する目標」において、「患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療」を基本理念として、人権を尊重し、患者の立場に立つ優れた医療人、医学・看護学における教育者、研究者を養成するとともに、医療人の生涯学習の拠点となることを掲げています。

この目標は昭和48年9月に本学部が設立された際、愛媛県における地域医療の充実と高度先端医療の展開を目指して策定され、その後40年以上にわたり一貫して、愛媛県における医療・医学の中核となり、教育面では高度な専門知識と技能を持ち地域医療に貢献する医師の養成を行う際の根幹をなす目標として堅持してきました。

愛媛県全体としては医師数、医療の質ともに大学設立当時に比較して、格段の改善や向上がみられます。しかし、最近では、愛媛県下の山間部、島嶼部だけでなく市部においても、公立の病院や診療所などの医療機関において医師不足が顕在化し、医学部に対して医師派遣の要請が急増しています。

愛媛県内の医療・保健福祉を質・量ともに向上させるためには、卒業後愛媛県内で活躍し、医療・保健福祉業務に従事する強い意志と使命感をもつ優れた医師を養成することが必要です。

このために本学における教育において、これまで以上に地域医療に進んで従事する医師の養成に取り組むだけでなく、さらに、県内高等学校出身者を対象とする学校推薦型選抜を実施し、自らが生まれ育ち、愛着を持つ愛媛県の医療に従事する強い意志と情熱を持つ人材を受け入れて教育することにより、上記の目標を達成したいと考えています。

(1) 出願要件及び推薦要件等

以下のいずれかに該当する者のうち、学習成績概評Aに属するもので、看護学・保健学の研究者、教育者あるいは臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任を持って推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できるもの

- 1) 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者
- 2) 通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木) [11月7日(木)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

(第1次選抜の日時)

令和6年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に医学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

1) 第1次選抜

小論文、面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）により、合否判定基準に基づき選考し、募集人員の1.5～2倍程度を合格させます。


小論文は和文・英文で出題します。

選抜の結果は、令和6年12月6日(金)に出身学校長及び受験者に送付します。

次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず選抜結果通知書により確認してください。

Webサイト	https://daigakuje.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和6年12月6日(金)10時（予定）～12月19日(木)17時	

(注) Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

第1次選抜により第2次選抜対象となった者は、令和7年1月20日(月)～1月24日(金)の間に、「令和7共通テスト成績請求票 推薦 国公立推薦型選抜用」を医学部入試係へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

2) 第2次選抜

大学入学共通テストの成績により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		同頁(5)選抜方法等 の2)第2次選抜を参照
国語	『国語』	1	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から1	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
〔3教科3科目〕			
◆「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。			

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情 報	計	小論文	面 接	計
			①	②							
100	-	-	-	-	100	200	-	400	200	100	300

注 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は 出題意図の開示日時等
小論文	和文は文章の理解力と、文章の内容をもとにして自分の考えをまとめ表現する能力などを総合的に採点・評価する。 英文は英語の読解力、考察力、自分の考えを論述する能力などを総合的に採点・評価する。	令和7年2月10日(月) 16時 医学部看護学科掲示場
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、看護学を学ぼうとする目的意識や勉強意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	
出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	面接に含めて評価する。	

医学部看護学科では、保健師教育課程に「選択制」を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、2年次前学期終了後に選考を受けて（編入生を含む35人程度）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

(1) 出願要件及び推薦要件等

- ・ 在籍する高等学校、あるいは出身学校の調査書の「全体の学習成績の状況」が4.0以上で人物が優秀であること
 - ・ 臨床看護・保健担当者としての優れた資質を有し、学校長が責任をもって推薦でき、かつ、合格した場合は入学を確約できること
 - ・ 愛媛県内の中山間地域や離島などの保健・医療に貢献する強い意思を持っており、合格した場合は誓約書を提出できること
 - ・ 入学後は地域における実習プログラムを受講できること
- 以上の全ての要件に該当する者で、将来、愛媛県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）としてその業務に従事しようとする者のうち、以下のいずれかに該当するもの
- (1) 愛媛県内の高等学校を令和6年3月以降に卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
 - (2) 愛媛県内において通常の課程による12年の学校教育を令和6年3月以降に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年10月18日(金) 10時～11月7日(木) 16時
検定料の支払期間	令和6年11月1日(金) 0時～11月7日(木) 16時
出願書類の提出期間	令和6年11月1日(金)～11月7日(木)〔11月7日(木)の消印有効〕
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び11月8日(金)以降に配達されたもののうち、11月7日(木)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

なお、成績請求票は到着次第、速やかに18ページ「(3) 出願書類の送付先」へ郵送（速達・簡易書留郵便）してください。

(3) 試験期日

令和6年11月23日(土)～11月24日(日)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

医学部で実施します。

詳細については、令和6年11月22日(金)10時に医学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、小論文及び面接の結果並びに提出された出願書類(推薦書、自己推薦書、調査書、活動報告書)により、合否判定基準に基づき、合格者を決定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等を 参照)
国語	『国語』	1	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、 『化学』、『生物』、『地学』	から1	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
〔3教科3科目〕			
◆「理科」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。			

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者（リスニングを免除された者を除く。）は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情 報	計	小論文	面 接	計
			①	②							
100	-	-	-	-	100	100	-	300	100	200	300

注 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
80点	20点	100点	リーディングを100点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準及び正解・解答例又は出題意図の開示日時等

教科等	採点・評価基準（一般的基準）	正解・解答例又は 出題意図の開示日時等
小論文	文章の理解力と、文章の内容をもとにして自分の考えをまとめ表現する能力などを総合的に採点・評価する。	令和7年2月10日(月) 16時 医学部看護学科掲示場
面接	面接時の態度や質問に対する応答を通して、看護学を学ぼうとする目的意識や勉強意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断して採点・評価する。	/
出願書類 (推薦書 自己推薦書 調査書 活動報告書)	面接に含めて評価する。	

医学部看護学科では、保健師教育課程に「選択制」を導入しています。

保健師資格の取得を希望する学生のうち、2年次前学期終了後に選考を受けて（編入生を含む35人程度）、所定の単位を修得した者が、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

愛媛大学医学部の基本理念等（医学部看護学科推薦B（地域特別枠推薦）用）

愛媛大学医学部看護学科では、愛媛県の地域医療に貢献できる看護職者を目指すという強い目的意識や情熱を持つ学生を対象に「地域特別枠推薦」を導入しています。

下記に示す本学科の理念等を踏まえ、貴方の地域医療に対する関心、抱負などを、本学所定の「自己推薦書」に1,000字以内で入力してください。

記

愛媛大学医学部は「教育の成果に関する目標」において、「患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療」を基本理念として、人権を尊重し、患者の立場に立つ優れた医療人、医学・看護学における教育者、研究者を養成するとともに、医療人の生涯学習の拠点となることを掲げています。

現在、全国的に医師、看護職者などの医療人材が都市部に集中し、中山間地域や離島においては、医療人材の不足が深刻な問題となっています。特に愛媛県においては、中山間地域や離島が多く存在するため、その地域で保健・医療を支える医療人材の不足が顕著に表れてきています。現状のままでは、中山間地域や離島における地域医療は危機的な状況に陥ることが懸念されます。

そのために、愛媛大学医学部看護学科では県内高等学校出身者を対象とする学校推薦型選抜を実施します。将来、愛媛県内において、看護職者（看護師・助産師・保健師）としてその業務に従事し、中山間地域や離島などの保健・医療に貢献するという強い意志を持つ人材を受け入れて教育することにより、上記の目標を達成したいと考えています。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ及び数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金) [12月13日(金)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和7年2月1日(土)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)
国語	『国語』	1	
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(再掲)		
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、 『化学』、『生物』、『地学』	から2	
	※ただし、『物理』又は「物理基礎」を含めること。		
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
〔5教科7科目〕			
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。(詳細は53ページ参照)			

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
			①	②							
100	(50)	(50)	125	125	250	150	-	800	100	100	200

注1 ()は、選択科目の配点を示す。

注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
120点	30点	150点	リーディングを150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識、勉強意欲、基礎的知識・学力、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ及び数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和7年2月1日(土)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)
国語	『国語』	1	
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	から2	
	※ただし、『物理』又は「物理基礎」を含めること。		
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
情報	『情報Ⅰ』	1	
〔5教科7科目〕			
◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。(詳細は53ページ参照)			

注1 ◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理 歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
			①	②							
100	-	-	125	125	250	150	50	800	100	100	200

注 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
120点	30点	150点	リーディングを150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識、勉強意欲、基礎的知識・学力、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ及び数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）若しくは理数数学Ⅱ」、「物理若しくは理数物理」、「化学若しくは理数化学」の全てを修得又は修得見込みの者）を令和7年3月に卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金)〔12月13日(金)の消印有効〕
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和7年2月1日(土)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接（口頭試問を含む。）の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

なお、面接の口頭試問は、数学（数学Ⅲ及び数学C*の内容を中心としますが、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B*の内容を含むことがあります。）及び英語に関するものを含みます。

*数学Bの範囲は「数列」、数学Cの範囲は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」とします。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)
数 学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理 科	『物理』	1	
情 報	『情報Ⅰ』	1	
〔3教科4科目〕			
◆「理科」の第1解答科目が『物理』でない場合は、合格者選考の対象とならない。			

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。
注2 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大 学 入 学 共 通 テ ス ト									個 別 学 力 検 査 等		
国 語	地 理 史	公 民	数 学		理 科	外 国 語	情 報	計	面 接	出願書類 推薦書 調査書 活動報告書	計
			①	②							
-	-	-	150	150	300	-	50	650	300	100	400

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教 科 等	採 点 ・ 評 価 基 準 (一 般 的 基 準)
面 接	目的意識、勉強意欲、基礎的知識・学力、自己表現力などについて総合的に評価する。
出 願 書 類 (推 薦 書) (調 査 書) (活 動 報 告 書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校（ただし、「数学Ⅲ若しくは理数数学Ⅱ」と「物理若しくは理数物理」を修得又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金) [12月13日(金)の消印有効]
<p>【留意事項】</p> <p>インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。</p> <p>なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和7年2月1日(土)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)
国語	『国語』	1	
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合／歴史総合／公共』	から1	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合／歴史総合／公共』(再掲)		
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、『物理』、 『化学』、『生物』、『地学』	から2	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
情報	『情報Ⅰ』	1	
〔6教科8科目〕			
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。(詳細は53ページ参照)			

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等			
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	面接	出願書類 (推薦書) 調査書 活動報告書	計
			①	②							
100	(50)	(50)	125	125	250	150	100	900	100	100	200

注1 ()は、選択科目の配点を示す。

注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
120点	30点	150点	リーディングを150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 (推薦書) 調査書 活動報告書	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

- 1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金) [12月13日(金)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

- 2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和7年2月1日(土)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法等 を参照)
国語	『国語』	1	
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	から1	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)		
数学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、 『化学』	から2	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
情報	『情報Ⅰ』	1	
〔6教科8科目〕			
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。(詳細は53ページ参照)			

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト									個別学力検査等		
国語	地理歴史	公民	数学		理科	外国語	情報	計	面接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
			①	②							
100	(50)	(50)	100	100	200	200	50	800	100	100	200

注1 ()は、選択科目の配点を示す。

注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
160点	40点	200点	リーディングを200点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面接	目的意識、勉強意欲、基礎的知識・学力、自己表現力などについて総合的に評価する。
出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲、態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

(1) 出願要件及び推薦要件等

高等学校の普通科、工業に関する学科、理数に関する学科又は総合学科を令和7年3月卒業見込みの者で、次の全ての条件に該当し、学校長が責任をもって推薦できるもの

- 1) 学習成績及び人物が優秀な者
- 2) 合格した場合は入学を確約できる者

(2) 出願期間等

1) 出願期間

出願情報の登録期間	令和6年11月25日(月) 10時～12月13日(金) 16時
検定料の支払期間	令和6年12月9日(月) 0時～12月13日(金) 16時
出願書類の提出期間	令和6年12月9日(月)～12月13日(金) [12月13日(金)の消印有効]
<p>【留意事項】 インターネット出願は、出願情報の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了にはなりませんので、出願書類を提出期間内に到着するように郵送してください。 なお、出願書類は、出願書類の提出期間内に配達されたもの、及び12月14日(土)以降に配達されたもののうち、12月13日(金)以前の日本国内発信局消印があるものを受理します。直接持参しても受理しません。</p>	

2) 出願手続

詳細については、17ページの「5 出願方法及び出願手続」により手続を行ってください。

(3) 試験期日

令和7年2月1日(土)

詳細については、81ページの「試験期日及び試験時間」を参照してください。

(4) 試験場

工学部で実施します。

詳細については、令和7年1月31日(金)10時に工学部試験場前（試験場の位置については、90ページの「12 試験場・試験場案内・交通機関案内」参照）に掲示しますので、確認してください。

(5) 選抜方法等

大学入学共通テストの成績、面接の結果並びに提出された出願書類（推薦書、調査書、活動報告書）の内容により、合否判定基準に基づき判定します。

(6) 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科・科目の採用方法			大学入学共通テスト の利用方法
教科	科目名等		総合して判定する。 (前頁(5)選抜方法を 参照)
国語	『国語』	1	
地理 歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、『地理総合/歴史総合/公共』	から1	
公民	『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』(再掲)		
数 学	①『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	から1	
	②『数学Ⅱ、数学B、数学C』	1	
理 科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、 『化学』、『生物』、『地学』	から2	
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1	
情 報	『情報Ⅰ』	1	
〔6教科8科目〕			
◆「地理歴史、公民」において2科目を受験している場合は、第1解答科目を採用する。 ◇「理科」において、同一名称を含む出題範囲と科目の選択は認めない。(詳細は53ページ参照)			

注1 ◆は、学部・学科等が指定する教科・科目の範囲内で受験を要する科目数以上を受験している場合の、科目の採用方法を示します。

◇は、理科の科目選択に関する注意事項を示します。

注2 「英語」はリスニングを含みます。「英語」を選択する者(リスニングを免除された者を除く)は、リーディングとリスニングの両方を必ず受験してください。リーディング又はリスニングのいずれかしか受験していない場合には、「英語」を受験しなかったものとして取り扱います。

注3 指定した教科・科目をすべて受験してください。1科目でも受験していない場合は合格者選考の対象となりません。

(7) 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点

大学入学共通テスト								個別学力検査等			
国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科	外国語	情 報	計	面 接	出願書類 (推薦書 調査書 活動報告書)	計
			①	②							
100	(25)	(25)	100	100	300	150	25	800	100	100	200

注1 ()は、選択科目の配点を示す。

注2 大学入学共通テストの「英語」の配点は下記のとおりとする。

リーディング	リスニング	計	リスニングを免除された者
120点	30点	150点	リーディングを150点とする。

(8) 個別学力検査等の採点・評価基準

教科等	採点・評価基準(一般的基準)
面 接	目的意識、勉学意欲、基礎的知識、自己表現力などについて総合的に評価する。
出 願 書 類 (推 薦 書 調 査 書 活 動 報 告 書)	「知識・理解」、「思考・判断、技能・表現」、「興味・関心・意欲・態度」、「主体性・多様性・協働性」について評価する。具体的には、推薦書・調査書は高等学校における学業成績、人物、特別活動、進路・動機などを総合的に評価する。活動報告書は志願者が主体的、意欲的に活動した多様な取り組み(課題研究を含む)及び取得資格などを総合的に評価する。なお、推薦書・調査書・活動報告書は面接における参考資料となる。

試験期日及び試験時間

学部	学科等	試験期日等
教育学部	学校教育教員養成課程 教育発達実践コース 小学校教育サブコース 初等中等教科コース 言語社会教育サブコース 科学教育サブコース 生活健康・芸術教育サブコース	令和6年11月24日(日)9:00～ 集団面接
理学部	理学科 数学・数理情報コース 物理学コース 化学コース	令和6年11月24日(日)9:00～ 面接(口頭試問を含む。)
医学部	医学科	推薦A 令和6年11月23日(土)9:00～11月24日(日) 推薦B 総合問題(120分)、面接
	看護学科	推薦A 令和6年11月23日(土)9:00～11月24日(日) 小論文(120分)、面接
		推薦B 令和6年11月23日(土)9:00～11月24日(日) 小論文(60分)、面接
工学部	工学科 機械工学コース 知能システム学コース 電気電子工学コース コンピュータ科学コース 応用情報工学コース 材料デザイン工学コース 化学・生命科学コース	令和7年2月1日(土)9:00～(予定) 面接

注1 集合時間等については、ダウンロードした「受験票」の2枚目以降の連絡事項に記載されていますので、必ず確認してください。

注2 受験票については、受験票ダウンロード期間内にインターネット出願サイトにログイン後、ダウンロードし、A4サイズで片面印刷してください。試験当日は、印刷した受験票を持参してください(22ページ参照)。

なお、受験票は入学手続及び入学試験個人成績開示請求の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。

注3 工学部の受験の際には、大学入学共通テストの受験票を必ず持参してください。

合否判定基準

〔○印が当該事項に該当することを示す。〕

事 項	合 否 判 定 基 準		
	総合点で合否を判定する。	原則として総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。	同 点 者 の 順 位 決 定 基 準
学部等			
教 育 学 部 第1次選抜 第2次選抜		集団面接の評価が著しく低い場合	(第1次選抜) 同点者は、同順位とする。 (第2次選抜) ① 同点者は、集団面接の得点により順位を付ける。 ② 集団面接の得点が同点の場合、出願書類(推薦書、調査書、調書、活動報告書)の得点により順位を付ける。
理 学 部 第1次選抜 第2次選抜	○		1次選抜については、面接と出願書類の合計点で判定する。 2次選抜は1次選抜および大学入学共通テストの合計点で判定する。同点者は同順位とする。
医 学 部 医 学 科 第1次選抜 第2次選抜		第1次選抜については、総合問題の得点又は面接の評価が著しく低い場合	(第1次選抜) 同点者は、同順位とする。 (第2次選抜) ① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合、総合問題の得点により順位を付ける。 ③ 総合問題の得点が同点の場合、大学入学共通テストの「外国語」の得点により順位を付ける。 ④ 大学入学共通テストの「外国語」の得点が同点の場合、調査書の「全体の学習成績の状況」が高い順とする。
看 護 学 科 推 薦 A (学校推薦) 第1次選抜 第2次選抜		面接の評価あるいは小論文の得点が著しく低い場合	(第1次選抜) 同点者は、同順位とする。 (第2次選抜) ① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合、調査書の「全体の学習成績の状況」が高い順とする。
看 護 学 科 推 薦 B (地域特別枠推薦)		面接の評価あるいは小論文の得点が著しく低い場合	① 同点者は、面接の得点により順位を付ける。 ② 面接の得点が同点の場合、調査書の「全体の学習成績の状況」が高い順とする。
工 学 部	○		同点者は、同順位とする。

合格者発表等

(1) 合格者発表の日時

令和7年2月10日(月) 16時


(2) 合格者発表の方法

- 1) 合格者には、合格者発表日に、合格通知書、入学手続関係書類をレターパックプラス（配達手渡しで、受取時に印鑑が必要）で郵送します。合格者の発表は、送付された合格通知書が正式なものとなりますので、必ず「合格通知書」で確認してください。
- 2) 出身学校長へ選考結果の通知書等を送付します。
- 3) 次のWebサイト（運営会社：大学情報センター）で合格者発表を行います。

アドレス（URL）を事前に「お気に入り（ブックマーク）」に登録の上、合格者発表後にアクセスしていただくと、早く確認ができますので、事前登録をお願いします。なお、本学ホームページでの発表は行いませんので、ご留意願います。

Webサイトでの発表は、参考として閲覧の上、必ず合格通知書により確認してください。

Webサイトに受験番号が掲載されているにもかかわらず、合格者発表日から3日経っても合格通知書が届かない場合は、受験した学部の入試係（95ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）にお問い合わせください。

Webサイト（携帯電話・パソコン共通）	
https://daigakujc.jp/ehime-u_goukaku/	
掲載期間	令和7年2月10日(月)16時（予定）～令和7年2月21日(金)17時

（注） Webサイトにアクセスが集中し、一時的につながりにくい状態になっている時は、少し時間をおいてから、再度アクセスしてください。

電話等による合否結果の照会には、一切応じられません。

入学手続

合格者は、下記の期間内に入学手続を行ってください。詳細については、合格通知の際にお知らせします。いかなる理由があっても、入学手続期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学辞退者として取り扱います。なお、入学手続は88ページの「11 入学手続及び初年度の諸経費」を参照してください。

入学手続期間

令和7年2月10日(月)～2月19日(水) 17時 郵送必着

8 留意事項

- (1) この学校推薦型選抜では、各学部・学科等で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査するので、合格者が募集人員に満たない場合があります。
また、入学手続き者が募集人員に満たない場合でも、追加合格は行いません。
- (2) 本学の学校推薦型選抜合格者は、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。詳細は公立大学協会ホームページ（<https://www.kodaikyo.org/>）を参照）を受験しても合格者とはなりません。
ただし、特別の事情により、令和7年2月19日(水)17時（必着）までに、推薦した出身学校長から、「推薦入学辞退願」が提出され、本学の入学辞退許可を得た場合は、この限りではありません。
また、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (3) 合格者は、入学手続期間内に入学手続を行わなかったときは、入学を辞退したものとして取り扱います。
この場合、出願済の国公立大学・学部を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 入学手続完了後でも、高等学校を卒業しない等の事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。
- (5) 合格の後、入学を辞退した場合は、翌年度以降の学校推薦型選抜において、当該学校からの学校推薦型選抜の出願を受理しないことがあります。
- (6) 一般選抜の出願
(本学学校推薦型選抜が不合格となった場合に備えての出願)
ア 大学入学共通テストを課す課さないにかかわらず、学校推薦型選抜の出願は1つの大学・学部等に限られますが（詳細は、13ページを参照）、本学学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、「前期日程」グループの大学・学部等から1つ、「後期日程」グループの大学・学部等から1つ、「公立大学中期日程」グループの大学・学部等から1つの合計3つの大学・学部等に出願することができます。この場合は、大学入学共通テストについて、出願する大学の指定する教科・科目を受験しておく必要があります。
イ 本学の一般選抜に出願する場合は、本学が別途作成している「令和7年度一般選抜学生募集要項」（令和6年11月上旬本学ホームページにて発表予定）により、インターネットにて出願手続を行い、所定の出願受付期間内に出願書類の提出をしてください。
- (7) 試験時間中、机の上には、受験票に記載されている「机の上に置けるもの」以外の所持品を置いてはいけません。これら以外のものは、かばんにしまい各自の机の横又は椅子の下に置いてください。
※定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具は使用できません。
- (8) 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・電子辞書・ICレコーダー・イヤホン・音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。これらの電子機器類をかばんにしまわず、身につけていたり手に持っているとな不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。（試験時間中、補聴器等を使用したい場合は、受験上の合理的配慮申請が必要です。85ページ「9 合理的配慮を希望する入学志願者の出願」を参照してください。）試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラーム等の設定を解除し電源を切っておいてください。これらを時計として使用することはできません。
- (9) 試験室内では、漢字、英字や地図等がプリントされている上着等は着用しないでください。座布団及びひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合も含む。）で漢字、英字や地図等がプリントされていないものは使用を認めず。健康上その他やむを得ない理由により、上記以外のものを使用したい場合は、監督者の指示に従ってください。
- (10) 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ、退室させます。その場合は、以後の受験はできなくなるとともに、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

本学では、病気・負傷や障がい等がある者が、受験上及び修学上不利になることがないように、合理的配慮の提供を行っており、そのための相談を随時受け付けています。

受験の際に必要な合理的配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に志願学部の入試係まで相談してください。

また、相談は志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上の合理的配慮の申請について

受験上の合理的配慮の提供を必要とする者は、以下の書類を出願書類とあわせて提出してください。

なお、出願後、事故等により受験上の合理的配慮が必要になった場合、又は出願の期限までに提出が困難な場合は、早急に志願学部の入試係までご連絡ください。

また、通常と異なる解答方法を希望される場合には、対応に時間を要するため、出願前のできるだけ早い時期に申請するようお願いいたします。

書 類 等	障害者手帳 所持者	障害者手帳 不所持者
受験上の合理的配慮希望申請書 (https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/guidelines-download/)	○	○
障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）の写し	○	×
受験上で必要な合理的配慮内容が記載された医師の診断書もしくは意見書の写し	○	○
大学入試センターから送付された「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（学校推薦型選抜Ⅱ志願者のみ）	○	○

(注) 日常生活において使用している補聴器、松葉杖、車椅子等についても、受験上の合理的配慮の申請が必要となります。なお、座布団、ひざ掛け、タオル（サイズは問わない。）、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）、ハンカチ、目薬については、受験上の合理的配慮の申請は不要です。

(2) 受験上の合理的配慮の決定通知

提出された書類により、受験上の合理的配慮を決定し、決定された合理的配慮の内容は、申請者に郵送で通知します。

なお、決定の際に不明な点がある場合には、別途確認の連絡を行うことがあります。

(3) 連絡及び提出先

志願学部の入試係（95ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）

10 推薦書記入上の注意

推薦書の「推薦理由等」欄は、推薦する学部の「推薦理由等」欄の記載について」を踏まえ、各項目の順に、項目を分けて記載してください。

学 部	「推薦理由等」欄の記載について
法文学部	<p>推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3つの観点を必ず含むようにしてください。 2 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 3 その他、特記することがあれば記入してください。 <p>(注) 各コースの内容については、「大学ガイドブック (大学案内)」及び「法文学部案内」を参照してください。</p>
教育学部	<p>推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3つの観点を必ず含むようにしてください。 2 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 3 その他、特記することがあれば記入してください。 <p>(注) 各コースの内容については、「大学ガイドブック (大学案内)」及び「教育学部案内」を参照してください。</p>
理 学 部	<p>推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3つの観点を必ず含むようにしてください。 2 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 3 その他、特記することがあれば記入してください。 <p>(注) 各コースの内容については、「大学ガイドブック (大学案内)」及び「理学部案内」を参照してください。</p>
医 学 部	<p>推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価についての記載を必ず含むようにしてください。 2 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 3 医学科学学校推薦型選抜ⅡB (地域特別枠推薦) 及び看護学科学学校推薦型選抜ⅡB (地域特別枠推薦) の志願者に関しては地域医療に対する適性等について記入してください。 4 その他、特記することがあれば記入してください。 <p>(注) 各学科の内容については、「大学ガイドブック (大学案内)」及び「医学部看護学科案内」を参照してください。</p>

学 部	「推薦理由等」欄の記載について
工 学 部	<p>推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3つの観点を必ず含むようにしてください。 2 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 3 その他、特記することがあれば記入してください。 <p>(注) 各コースの内容については、「大学ガイドブック (大学案内)」及び「工学部案内」を参照してください。</p>
農 学 部	<p>推薦をする理由の記入に当たっては、概評的・抽象的でなく、具体的な事実に基づいて記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 志願者を推薦する理由を、志願者の学習及び活動の成果を踏まえ、本学部のアドミッション・ポリシーを参照して記載してください。その際、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の3つの観点を必ず含むようにしてください。 2 今後努力を要する点や入学後に特に配慮を要する事項があれば記入してください。 3 その他、特記することがあれば記入してください。 <p>(注) 各学科の内容については、「大学ガイドブック (大学案内)」及び「農学部案内」を参照してください。</p>

11 入学手続及び初年度の諸経費

(1) 入学手続

合格者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。

詳細については、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類で確認してください。

① 入学手続期間

学校推薦型選抜Ⅰの合格者

令和6年12月6日(金)～12月18日(水)17時必着（郵送）

学校推薦型選抜Ⅱの合格者

令和7年2月10日(月)～2月19日(水)17時必着（郵送）

② 入学手続書類等

書 類 等	摘 要
保 証 書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
愛媛大学関連団体への 情報提供に関する同意書	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの
令和7年度大学入学 共通テスト受験票	大学入試センター発行のもの (大学入学共通テストに出願していない者は不要) (入学手続完了後に返還します。)
令和7年度 愛媛大学受験票	出願サイトからダウンロードして印刷したもの (入学手続完了後に返還します。)
入学資格証明書	卒業証明書又はこれに代わる証明書（卒業証書不可） 在学中の者は、卒業後に提出してください。
住民票の写し (日本国籍を有しない者のみ)	市区町村長が発行したもの（日本国籍を有しない者のみ提出してください。)
誓 約 書 (愛媛大学提出用)	本学所定の用紙に必要事項を記入したもの (医学部医学科推薦B（地域特別枠推薦）及び看護学科推薦B（地域特別枠推薦）の 合格者のみ提出してください。) (合格通知書とともに送付します。)
入学料及び授業料	89ページ「(2) 初年度の諸経費」を参照

③ 入学手続の方法

入学手続の一部をインターネットにより行います。

合格者は、入学手続専用サイトから必要情報の登録、入学料の納付を行い、入学手続書類に必要事項を記入の上、入学手続書類を一括して18ページ記載の「(3) 出願書類の送付先」へ「速達・簡易書留」で郵送してください。

郵送する際に、入学手続期間に必着することを郵便局で確認してください。直接持参しても受理しません。

④ 注意事項

- (ア) 合格者は、いかなる理由があっても、入学手続期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学辞退者として取り扱います。
- (イ) 「大学入学共通テスト受験票」を紛失した場合は、大学入試センターに再発行の申請をし、再発行された受験票を提出してください。再発行を受けた場合、当初発行のものは無効となります。
申請方法は、「大学入学共通テスト受験案内」を参照してください。

(2) 初年度の諸経費

初年度に必要な諸経費は、おおむね次のとおりです。

学 部	入 学 料	授 業 料	その他の経費	合 計 金 額
法 文 学 部 「昼間主コース」	282,000円	年 額 535,800円 〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕	64,660円	882,460円
教 育 学 部			64,660円	882,460円
理 学 部			64,660円	882,460円
医 学 部			155,800円 (86,370円)	973,600円 (904,170円)
工 学 部			64,660円	882,460円
農 学 部			70,660円	888,460円
法 文 学 部 「夜間主コース」	141,000円	年 額 267,900円 〔前期分 133,950円 後期分 133,950円〕	62,760円	471,660円

注1 入学料及び授業料の額は、令和6年度納付額であり、令和7年度は改定になる場合があります。

注2 その他の経費は、学生教育研究災害傷害保険料、後援会費及び校友会費等の合計金額（金額については変更される場合があります。）です。

注3 医学部（ ）内は、看護学科の金額を示します。

(3) 納付金の納入

① 入 学 料 282,000円（法文学部「夜間主コース」は、141,000円）

納入期間 受験した学校推薦型選抜の入学手続期間

② 授 業 料 前期分267,900円〔年額535,800円〕

（法文学部「夜間主コース」は、前期分133,950円〔年額267,900円〕）

注1 納入期間等については、合格通知の際にお知らせします。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3 法文学部では、長期履修学生制度（職業を有しているなどの事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度）を導入しています。授業料納入の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

(4) 入学手続等の詳細については、合格通知の際にお知らせします。

12 試験場・試験場案内・交通機関案内

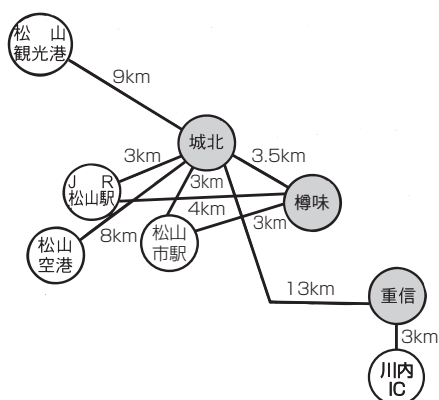
試験場

学部	図標示	試験場	所在地
法文学部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
教育学部			松山市文京町2番5号
理学部			
医学部	②	重信キャンパス	東温市志津川
工学部	①	城北キャンパス	松山市文京町3番
農学部	③	樽味キャンパス	松山市樽味3丁目5番7号

試験場案内

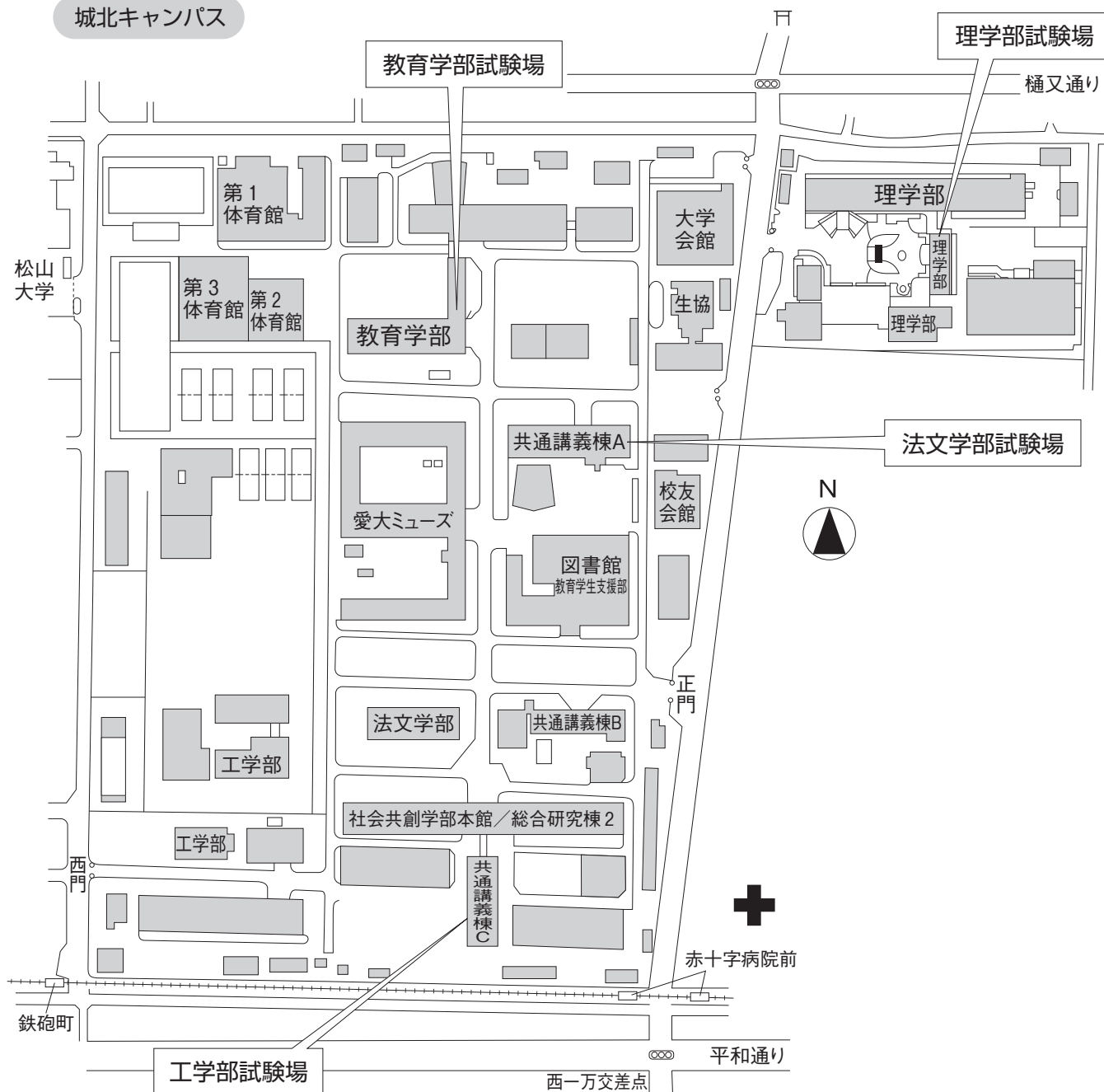


距離



① 法文学部、教育学部、理学部、工学部

城北キャンパス



注 試験場は予定であり、変更になる可能性があります。試験場については、受験票ダウンロード期間中にダウンロードした「受験票」の連絡事項をご確認ください。

【アクセス】

● JR松山駅から

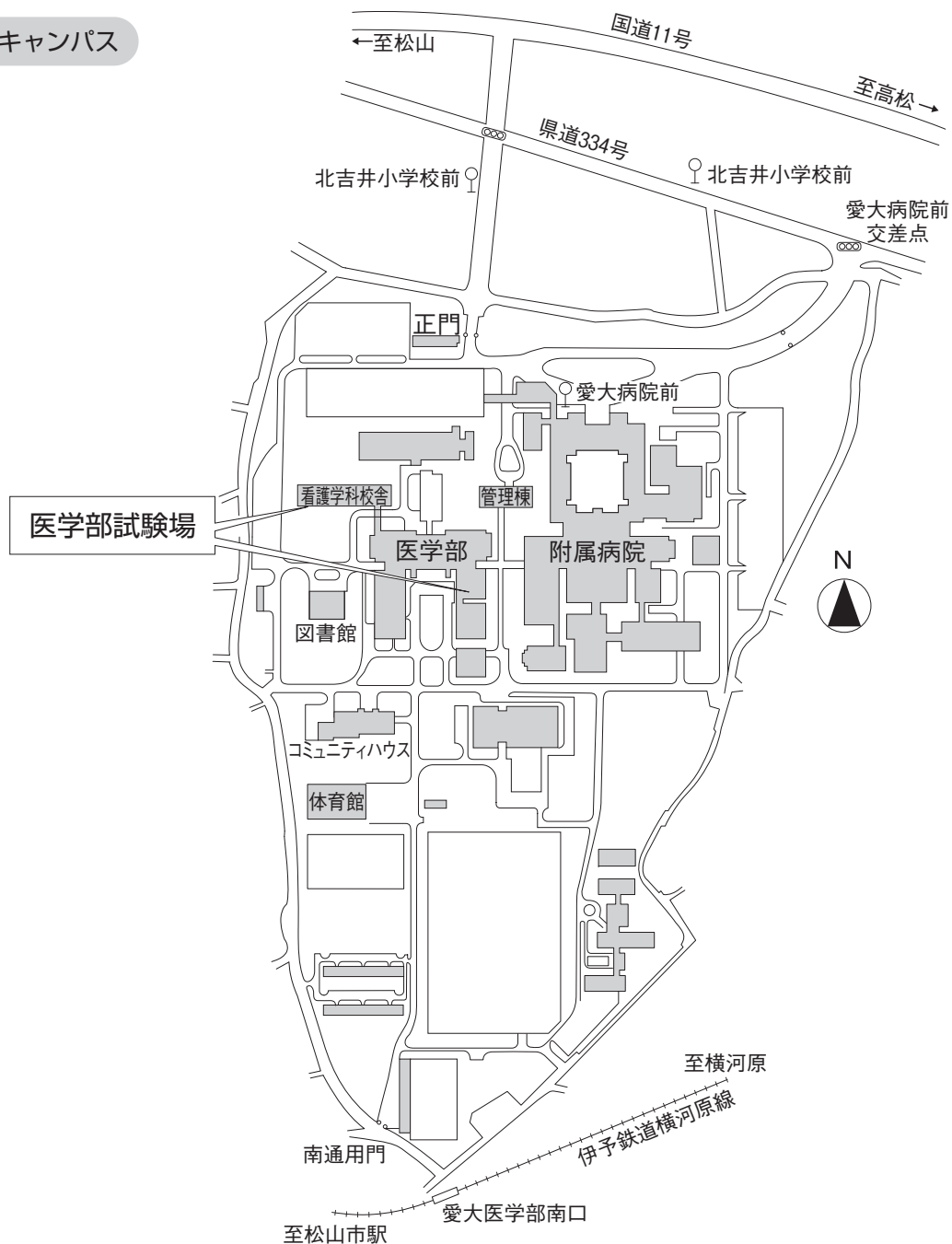
伊予鉄道市内電車 ①番環状線 JR松山駅前から古町回り松山市駅行き 乗車約18分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

● 松山市駅から

伊予鉄道市内電車 ②番環状線 松山市駅から大街道回り 乗車約16分 赤十字病院前下車 北へ徒歩3分
①番環状線 松山市駅からJR松山駅前回り 乗車約28分
赤十字病院前下車 北へ徒歩3分

② 医学部

重信キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄道郊外電車 大手町 (JR松山駅から東へ徒歩5分) から横河原行き 乗車約32分
愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

● 松山市駅から

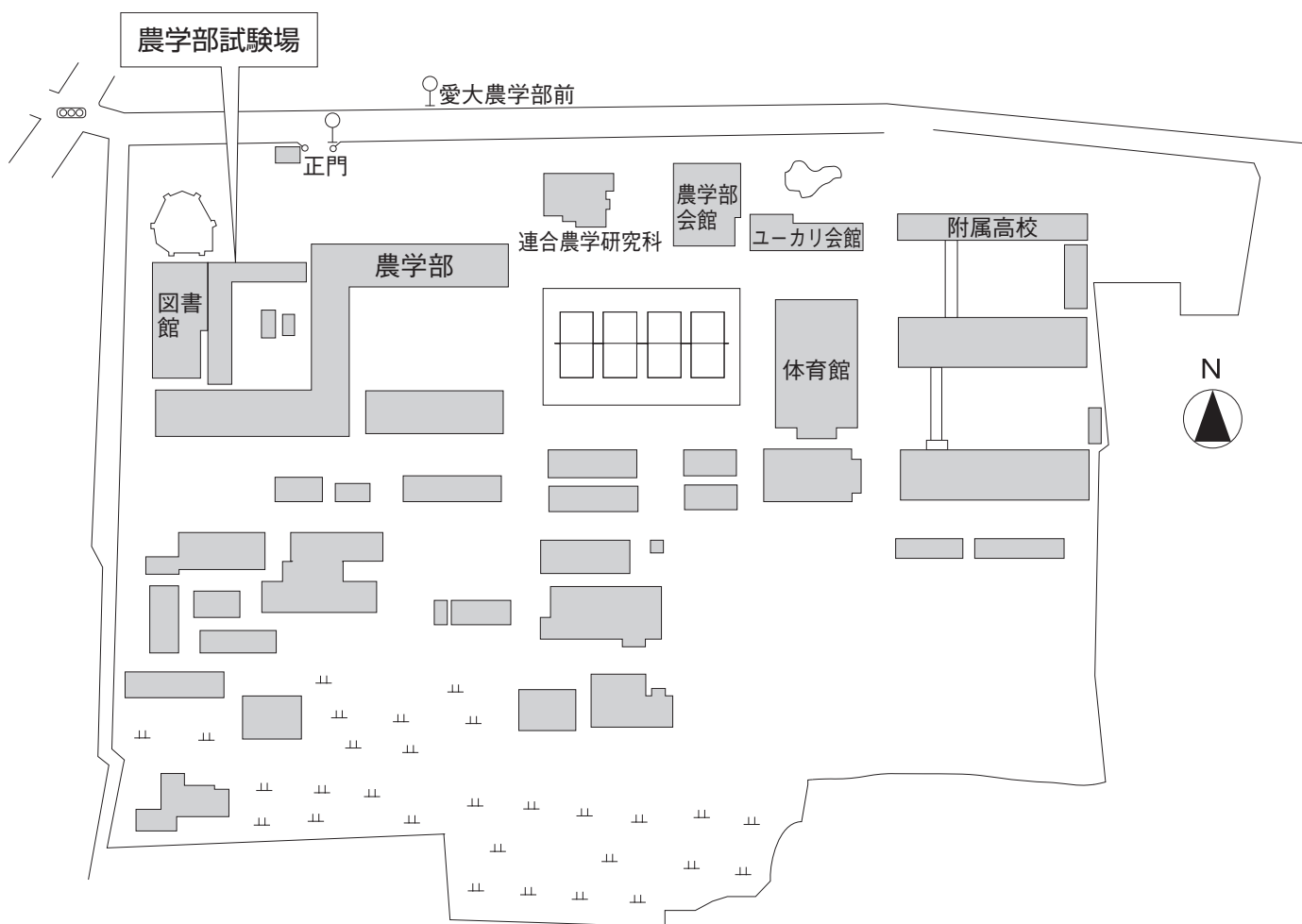
伊予鉄道郊外電車 松山市駅から横河原行き 乗車約28分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分
伊予鉄郊外バス 松山市駅から川内方面行き 乗車約35分 愛大病院前下車 徒歩すぐ

● 松山観光港から

伊予鉄バス 高浜駅前行き 乗車約2分 高浜駅前乗り換え
伊予鉄道郊外電車 高浜から横河原行き 乗車約60分 愛大医学部南口下車 北へ徒歩5分

③ 農学部

樽味キャンパス



〔アクセス〕

● JR松山駅から

伊予鉄バス 8番線 (東野経由) JR松山駅前から道後温泉駅前行き 乗車約24分 愛大農学部前下車

● 松山市駅から

伊予鉄バス 8番線 (東野経由) 松山市駅から道後温泉駅前行き 乗車約15分 愛大農学部前下車

13 入学試験個人成績の開示

本学では、入学試験の個人成績及び総合点の順位を受験者本人に限って開示します。令和7年度入学試験の個人成績の開示は、次のとおり行いますので、希望者は期間内に申し込んでください。

ただし、面接、集団面接及び調査書等の出願書類については、A（期待される水準を上回っている）、B（期待される水準に達している）、C（期待される水準を下回っている）による段階評価を開示します。

請求者：受験者本人に限ります。（代理人は不可）

請求期間：令和7年5月1日(木)～令和7年5月31日(土)

郵送による請求のみとし、この**期間内の消印**があるもの限り受け付けます。

請求方法：開示請求書により、令和7年度愛媛大学受験票又は令和7年度大学入学共通テスト受験票と、460円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封して、受験した学部の入試係（95ページ「16 入学試験に関する照会先」参照）へ請求してください。

開示請求書は、大学ホームページ（<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/results-release/>）からダウンロードできます。

※請求書等に不備がある場合は、開示することができません。不備がある場合は、請求書に記載されている連絡先に電話連絡をするので、必ず連絡の取れる連絡先を明記してください。

開示方法：令和7年6月中旬頃、受験者本人あてに、郵送された受験票とともに、簡易書留郵便で送付します。

14 正解・解答例又は出題意図の開示

本学では、令和7年度学校推薦型選抜の正解・解答例又は出題意図の開示を次のとおり行います。（法文学部、医学部、農学部のみ）

掲示による場合

場 所：各学部掲示場

掲示期間：開示日から2週間

郵送による場合

110円分の切手を貼付し自己のあて先を明記した返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cm）を同封し、「○○学部（受験した学部）の○○（試験教科等）の正解・解答例又は出題意図の開示請求」と朱書きの上、受験した学部の入試係（95ページ参照）へ請求してください。

受付期間：原則として開示日以降1か月間

15 個人情報取扱

本学では、出願受付を通じて取得した氏名、住所等の個人情報は、本学における出願の事務処理、出願書類等に不備があった場合の連絡、試験の実施、合格者発表、合格された場合の入学手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学を受験されること及び提出した出願書類等に不備があることを、保護者等又は所属学校に通知する場合があります。

また、本選抜に係る個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

16 入学試験に関する照会先

入試に関する電話による照会（お問い合わせ）は、月曜日から金曜日まで（祝日・年末年始を除く。）の9時から17時までの間とし、原則として志願者本人が行ってください。

なお、インターネット出願の操作方法・支払方法に関するお問い合わせは、出願操作サポート窓口（コールセンター）（23ページ参照）へ連絡してください。

学 部	所 在 地	電 話 番 号
法 文 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部入試係	089-927-9221
教 育 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部入試係	089-927-9377
理 学 部	〒790-8577 松山市文京町2番5号 愛媛大学理学部入試係	089-927-9546
医 学 部	〒791-0295 東温市志津川 愛媛大学医学部入試係	089-960-5869
工 学 部	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学工学部入試係	089-927-9697
農 学 部	〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号 愛媛大学農学部入試係	089-946-9648
入 試 課	〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学生支援部入試課	089-927-9172

Webでのお問い合わせは、下記をご利用ください。

入試情報についてのお問い合わせ（URL）

<https://www.ehime-u.ac.jp/mail-contact/form-entrance/>

17 入試情報サービス

■愛媛大学受験情報サイト (<https://juken.ehime-u.ac.jp>)

入試日程、学生募集要項、オープンキャンパス、進学相談会など受験にかかわる情報に加え、学びと研究、大学生活、卒業後の進路など、本学の情報を幅広く提供しています。



■入学試験実施統計 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/entrance-exam-statistics/>)

過去7年分の入学試験実施統計（選抜別の実施状況や当初合格者の成績、都道府県別入学者数など）を掲載しています。



■インターネット出願 (<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/online-application/>)

一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜への出願は、出願期間内に、インターネット出願サイトから行います。出願前に、動画「インターネット出願の使い方」の視聴や学生募集要項に記載されるインターネット出願の操作方法を確認することをお勧めします。



■がんばれ国公立大学受験生!! (<https://daigakujc.jp/ehime-u/>)

イベント・トピックス、入試情報、大学の特長・沿革、学部・学科情報、学生生活、キャリア・就職支援等の情報を提供しています。

(運営：大学情報センター)



■学生募集要項等の提供時期

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等は、受験情報サイトから閲覧・ダウンロードができます。

大学ガイドブック（大学案内）等を資料請求される場合は、愛媛大学ホームページの「資料請求」(<https://www.ehime-u.ac.jp/entrance/document-request/>) からお手続きをしてください。

大学ガイドブック（大学案内）・学生募集要項等	提供開始予定時期
大学ガイドブック（大学案内） 学部ガイドブック（学部案内） 法文学部案内、教育学部案内、社会共創学部案内、理学部案内、 医学部看護学科案内、工学部案内、農学部案内	提供中
入学者選抜要項 ^(注1)	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅰ ^(注2)	提供中
学生募集要項 私費外国人留学生選抜、 渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜、社会人選抜	提供中
学生募集要項 総合型選抜Ⅱ ^(注2) 、学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱ ^(注2)	提供中
学生募集要項 一般選抜 ^(注2)	令和6年11月上旬～

(注1) 印刷物（冊子）での配布は行っていません。

(注2) インターネット出願のみ。印刷物（冊子）での配布は行っていません。

18 「入試過去問題活用宣言」への参加

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用した場合は、入試終了後、本学のホームページで公表します。

なお、「入試過去問題活用宣言」の詳細は、「入試過去問題活用宣言」ホームページ (<https://www.nyushikakomon.jp>) にて公表しています。